

直江津区関川左岸地域 避難行動計画【中央一丁目・あけぼの町内会】

1 津波から避難するための事前準備

(1) ひとりひとりが準備しておくこと

- ⇒ 津波災害の特性などの把握
 - ・上越市民防災ガイドブックや上越市津波ハザードマップ（災害予測地図）などで、津波の特性について学習しておきましょう。
- ⇒ 非常用持出袋や避難時の装備・服装の準備
 - ・津波は、警報等の解除まで時間がかかることがあります。避難先で数日間過ごすことになる場合に備え、非常用持出袋や避難時の装備・服装を準備しておきましょう。
 - ・上越市民防災ガイドブックや津波ハザードマップ（災害予測地図）には、準備しておくべきことの詳しい内容が載っていますので、よく読んでおきましょう。
- ⇒ 地域の避難経路、避難先の確認
 - ・避難行動計画の避難経路図や津波ハザードマップ（災害予測地図）を見て、自宅や職場・学校などからの避難経路や避難先を確認しておきましょう。
 - ・家庭や職場で津波発生時の取り決めや集合場所などを話し合っておきましょう。
- ⇒ 津波の情報や市からの緊急のお知らせの入手方法の点検や確認
 - ・試験放送などで、防災ラジオが受信できるか確認しておきましょう。
 - ・緊急速報「エリアメール」・緊急速報メールを受信できるか確認しておきましょう。

(2) 地域（町内会）で準備しておくこと

- ⇒ 避難行動要支援者の避難支援
 - ・要支援者情報の共有と個別計画の作成推進を図っています。
- ⇒ 避難経路の除雪
 - ・冬期の津波発生に備え、避難経路は日ごろから除雪に努めます。
- ⇒ 防災訓練の実施
 - ・町内会は、毎年 1 回、津波に備えた防災訓練の実施に努めます。
- ⇒ タウンウォッチング（避難経路の点検等）の実施
 - ・町内会は、地域の危険箇所を把握するため、毎年 1 回、タウンウォッチング（避難経路の点検等）の実施に努めます。

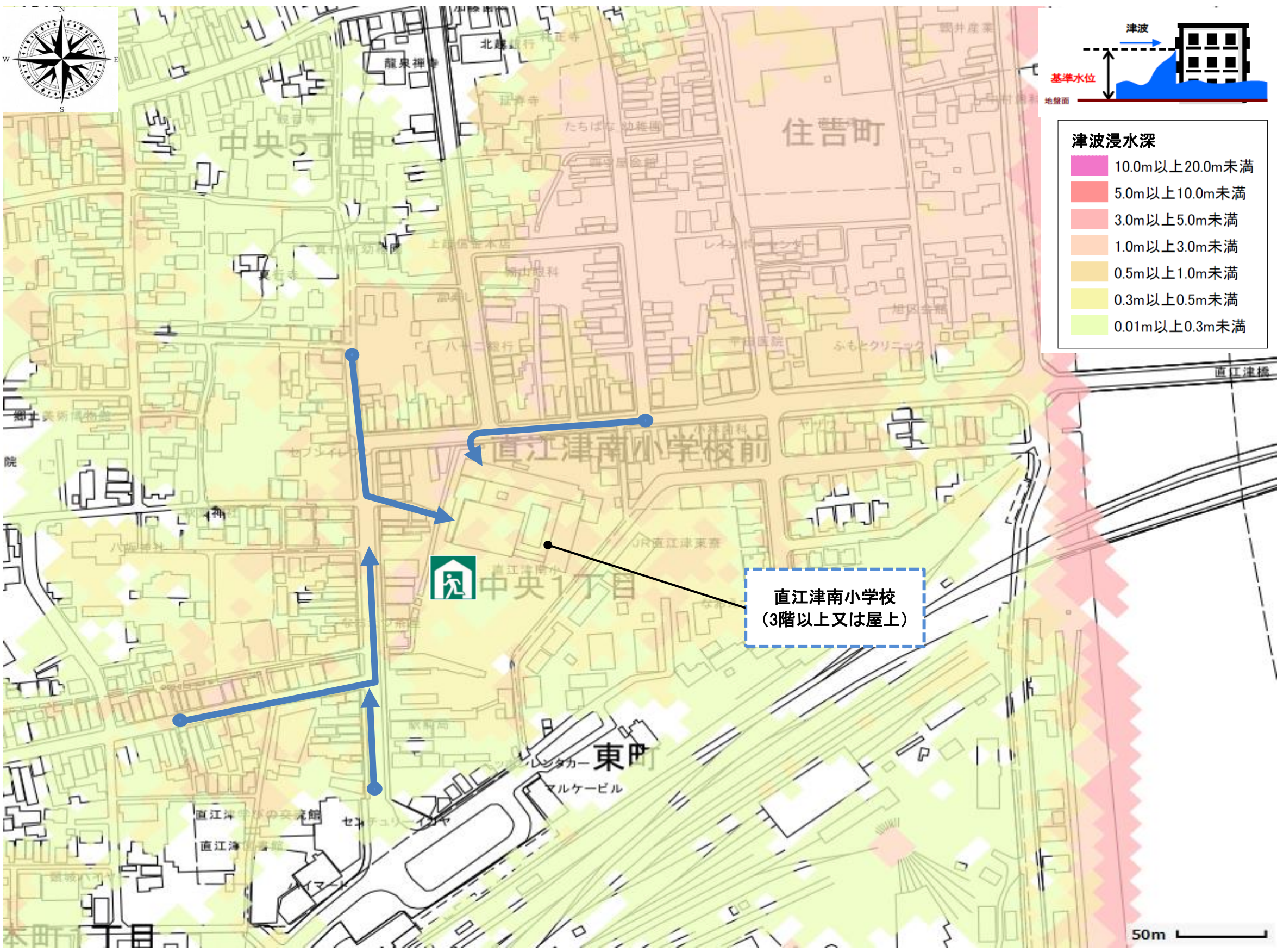
2 津波からの避難マニュアル（町内会のとりきめ）

(1) 避難開始前の行動	(2) 津波に関する情報の入手方法
1 揺れがおさまるまで身の安全を図る 原則として地震で揺れたら避難しますが、まずは机の下などに隠れて、落下物などから身を守りましょう。 2 家族や財産を守る 火を消し、初期消火をしましょう。また、家族の安否を確認しましょう。 3 余震に注意し、避難の準備をする 室内でガラスや落下物から身を守るためにスリッパや靴を履きましょう。また、非常用持出袋を用意しましょう。	1 防災行政無線・上越市防災ラジオ Jアラートによる地震・津波の情報をお伝えします。 2 携帯電話・スマートフォン 市域内にいる方には緊急速報「エリアメール」で地震・津波の情報をお伝えします。また、上越市安全メール・SNS でも補完情報などをお伝えします。
(3) 避難時に持ち出すものや装備・服装	(4) 避難の方法・避難先
1 動きやすく、安全な装備・服装 軍手、スニーカー、雨具、ヘルメット 上着 等 2 非常用持出袋の中身 非常食、懐中電灯、携帯ラジオ、ライター、体温計、マスク、ウェットティッシュ、アルコール消毒液 等 3 貴重品や日用品 財布、携帯電話 等	1 原則として徒歩で避難します。 2 原則として個々で避難しますが、可能な限り近隣に声を掛けて避難します。 3 原則として、町内または地域ごとにあらかじめ定められた指定緊急避難場所・指定避難所に向かいます。 ○指定緊急避難場所兼指定避難所 ・直江津南小学校（3 階以上又は屋上） ※町内では、直江津南小学校への避難を原則とするが、命を守る行動として近くのビルに緊急避難する。
(5) 避難行動要支援者の支援方法	
1 日ごろから、コミュニケーションを図り、状況の把握に努めましょう。 2 要支援者名簿を町内会で共有しておきます。 3 できるだけ、声を掛け合って、協力して避難しましょう。	4 原則として津波の進入方向に避難することは、控えてください。川や水路に近付くことも危険です。 5 津波警報等が解除されるまで、独自の判断で自宅に戻ってはいけません。 6 浸水想定外だから安全とは限りません。できるだけ高い場所を目標に避難しましょう。

直江津区関川左岸地域

避難行動計画【中央一丁目・あけぼの町内会】

避難経路図



地域の情報

指定緊急避難場所 兼指定避難所	
指定緊急避難場所 (津波指定)	
指定緊急避難場所 (津波避難ビル)	
避難経路	
町内会が定めた 避難目標地点	

避難上の注意点

- 指定緊急避難場所兼指定避難所
・ 直江津南小学校
- 避難行動の流れ
 - ・ 直江津南小学校を目指し、避難行動を開始する。想定上、避難行動が可能な時間は、約10～15分である。
 - ・ 避難行動は、徒歩によることを原則とする。
 - ・ できるだけ小路は通らず、大通りを通して避難する。
 - ・ 直江津南小学校内では、できるだけ高い階に避難する。
 - ・ 津波は繰り返し襲来するおそれがあるため、独自の判断で自宅に戻ることはせず、警報等の解除まで避難行動を継続する。
- 緊急持出品
 - ・ 夜間の避難に備え、懐中電灯を携帯し避難する。

直江津区関川左岸地域 避難行動計画【中央一丁目・四ツ屋町内会】

1 津波から避難するための事前準備

(1) ひとりひとりが準備しておくこと

- ⇒ 津波災害の特性などの把握
 - ・上越市民防災ガイドブックや上越市津波ハザードマップ（災害予測地図）などで、津波の特性について学習しておきましょう。
- ⇒ 非常用持出袋や避難時の装備・服装の準備
 - ・津波は、警報等の解除まで時間がかかることがあります。避難先で数日間過ごすことになる場合に備え、非常用持出袋や避難時の装備・服装を準備しておきましょう。
 - ・上越市民防災ガイドブックや津波ハザードマップ（災害予測地図）には、準備しておくべきことの詳しい内容が載っていますので、よく読んでおきましょう。
- ⇒ 地域の避難経路、避難先の確認
 - ・避難行動計画の避難経路図や津波ハザードマップ（災害予測地図）を見て、自宅や職場・学校などからの避難経路や避難先を確認しておきましょう。
 - ・家庭や職場で津波発生時の取り決めや集合場所などを話し合っておきましょう。
- ⇒ 津波の情報や市からの緊急のお知らせの入手方法の点検や確認
 - ・試験放送などで、防災ラジオが受信できるか確認しておきましょう。
 - ・緊急速報「エリアメール」・緊急速報メールを受信できるか確認しておきましょう。

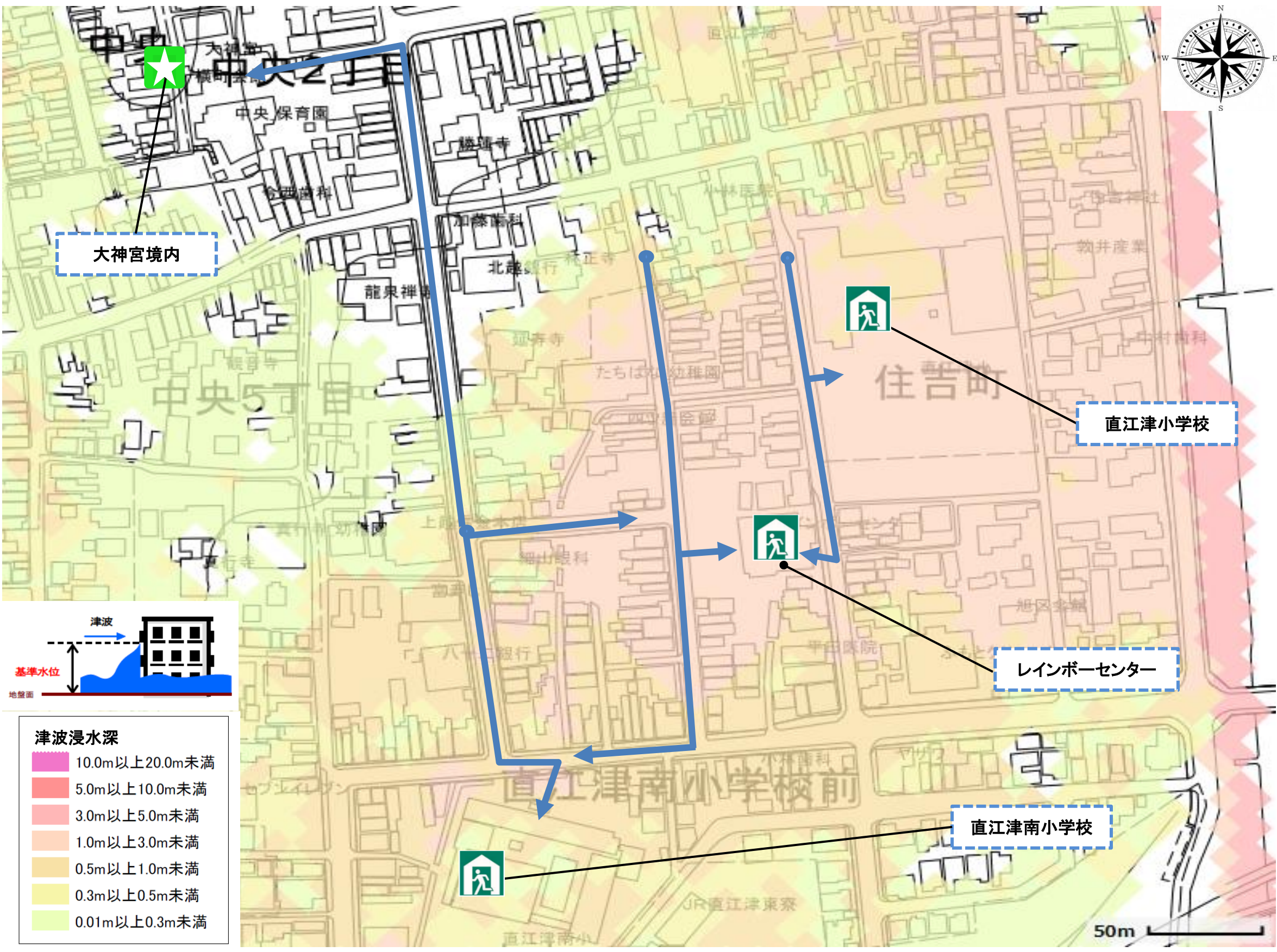
(2) 地域（町内会）で準備しておくこと

- ⇒ 避難行動要支援者の避難支援
 - ・要支援者情報の共有と個別計画の作成推進を図っています。
- ⇒ 避難経路の除雪
 - ・冬期の津波発生に備え、避難経路は日ごろから除雪に努めます。
- ⇒ 防災訓練の実施
 - ・町内会は、毎年 1 回、津波に備えた防災訓練の実施に努めます。
- ⇒ タウンウォッチング（避難経路の点検等）の実施
 - ・町内会は、地域の危険箇所を把握するため、毎年 1 回、タウンウォッチング（避難経路の点検等）の実施に努めます。

2 津波からの避難マニュアル（町内会のとりきめ）

(1) 避難開始前の行動	(2) 津波に関する情報の入手方法
1 揺れがおさまるまで身の安全を図る 原則として地震で揺れたら避難しますが、まずは机の下などに隠れて、落下物などから身を守りましょう。 2 家族や財産を守る 火を消し、初期消火をしましょう。また、家族の安否を確認しましょう。 3 余震に注意し、避難の準備をする 室内でガラスや落下物から身を守るためにスリッパや靴を履きましょう。また、非常用持出袋を用意しましょう。	1 防災行政無線・上越市防災ラジオ Jアラートにより地震・津波の情報をお伝えします。 2 携帯電話・スマートフォン 市域内にいる方には緊急速報「エリアメール」で地震・津波の情報をお伝えします。また、上越市安全メール・SNS でも補完情報などをお伝えします。
(3) 避難時に持ち出すものや装備・服装	(4) 避難の方法・避難先
1 動きやすく、安全な装備・服装 軍手、スニーカー、雨具、ヘルメット 上着 等 2 非常用持出袋の中身 非常食、懐中電灯、携帯ラジオ、ライター、体温計、マスク、ウェットティッシュ、アルコール消毒液 等 3 貴重品や日用品 財布、携帯電話 等	1 原則として徒歩で避難します。 2 原則として個々で避難しますが、可能な限り近隣に声を掛けて避難します。 3 原則として、避難目標地点又は指定緊急避難場所兼指定避難所を目指します。 ○避難目標地点 ・大神宮境内 ○指定緊急避難場所兼指定避難所 ・直江津小学校 ・レインボーセンター ・直江津南小学校
(5) 避難行動要支援者の支援方法	
1 日ごろから、コミュニケーションを図り、状況の把握に努めましょう。 2 要支援者名簿を町内会で共有しておきます。 3 できるだけ、声を掛け合って、協力して避難しましょう。	4 原則として津波の進入方向に避難することは、控えてください。川や水路に近付くことも危険です。 5 津波警報が解除されるまで、独自の判断で自宅に戻ってはいけません。 6 できるだけ高い場所を目標に避難しましょう。

直江津区関川左岸地域 避難行動計画【中央一丁目・四ツ屋町内会】 避難経路図



地域の情報

指定緊急避難場所 兼指定避難所	
指定緊急避難場所 (津波指定)	
指定緊急避難場所 (津波避難ビル)	
避難経路	
町内会が定めた 避難目標地点	

- 避難上の注意点
- 避難目標地点
 - ・ 大神宮境内
 - 指定緊急避難場所兼指定避難所
 - ・ 直江津小学校
 - ・ レインボーセンター
 - ・ 直江津南小学校
 - 避難行動の流れ
 - ・ 避難行動は、徒歩によることを原則とする。
 - ・ 最寄りの指定避難場所等に避難し、できるだけ高い階に避難する。(校舎2階以上又は屋上)
 - ・ できるだけ小路は通らず、大通りを通して避難する。
 - ・ 津波警報等が解除されるまで、独自の判断で自宅に戻ることはせず、避難行動を継続する。
 - ・ 関川を渡って避難することは危険なため、春日新田方面へ避難することはしない。
 - 緊急持出品
 - ・ 夜間の避難に備え、懐中電灯を携帯し避難する。

直江津区関川左岸地域 避難行動計画【中央一丁目・旭区町内会】

1 津波から避難するための事前準備

(1) ひとりひとりが準備しておくこと

- ⇒ 津波災害の特性などの把握
- ・上越市民防災ガイドブックや上越市津波ハザードマップ（災害予測地図）などで、津波の特性について学習しておきましょう。
- ⇒ 非常用持出袋や避難時の装備・服装の準備
- ・津波は、警報等の解除まで時間がかかることがあります。避難先で数日間過ごすことになる場合に備え、非常用持出袋や避難時の装備・服装を準備しておきましょう。
 - ・上越市民防災ガイドブックや津波ハザードマップ（災害予測地図）には、準備しておくべきことの詳しい内容が載っていますので、よく読んでおきましょう。
- ⇒ 地域の避難経路、避難先の確認
- ・避難行動計画の避難経路図や津波ハザードマップ（災害予測地図）を見て、自宅や職場・学校などからの避難経路や避難先を確認しておきましょう。
 - ・家庭や職場で津波発生時の取り決めや集合場所などを話し合っておきましょう。
- ⇒ 津波の情報や市からの緊急のお知らせの入手方法の点検や確認
- ・試験放送などで、防災ラジオが受信できるか確認しておきましょう。
 - ・緊急速報「エリアメール」・緊急速報メールを受信できるか確認しておきましょう。

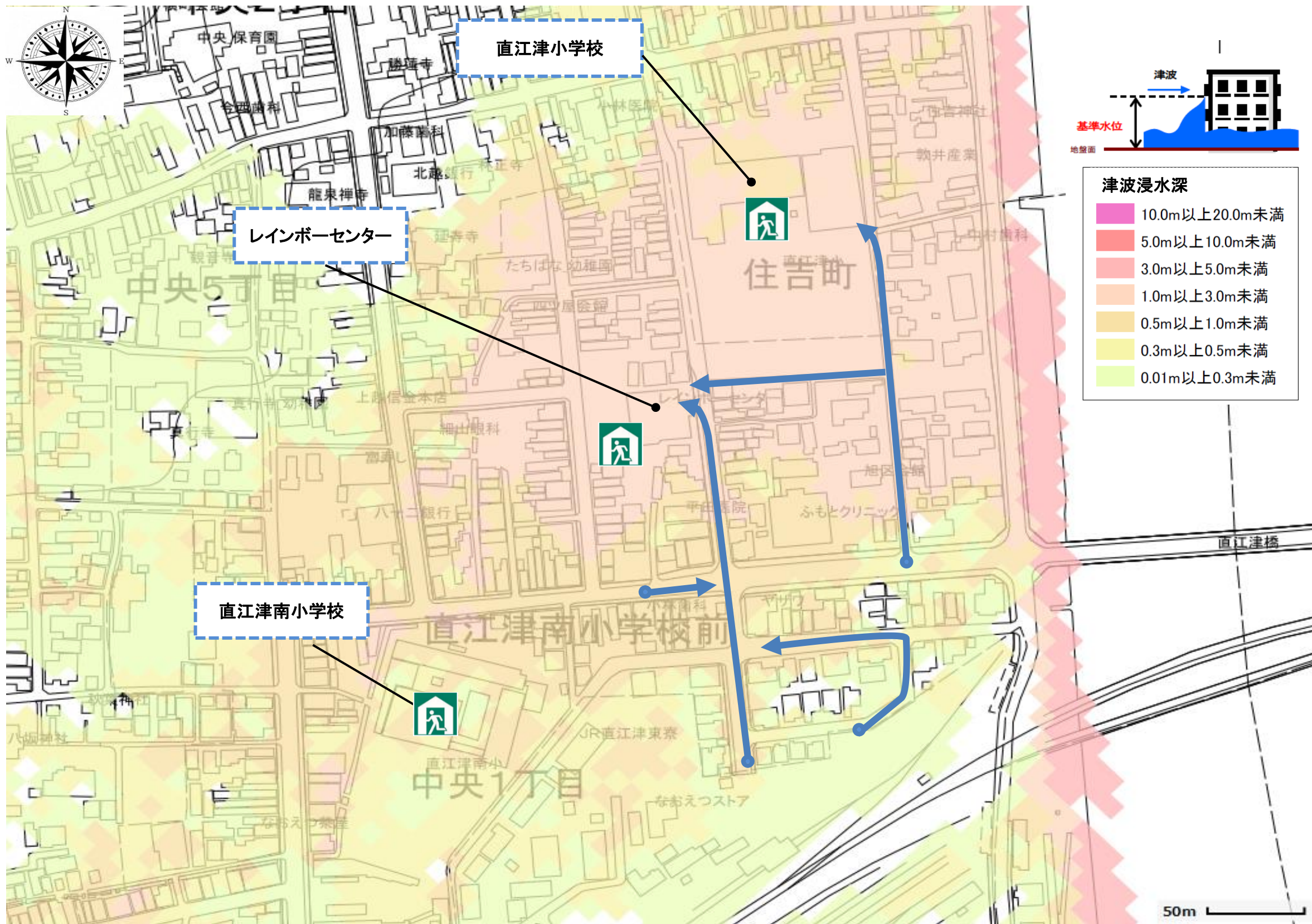
(2) 地域（町内会）で準備しておくこと

- ⇒ 避難行動要支援者の避難支援
- ・要支援者情報の共有と個別計画の作成推進を図っています。
- ⇒ 避難経路の除雪
- ・冬期の津波発生に備え、避難経路は日ごろから除雪に努めます。
- ⇒ 防災訓練の実施
- ・町内会は、毎年 1 回、津波に備えた防災訓練の実施に努めます。
- ⇒ タウンウォッチング（避難経路の点検等）の実施
- ・町内会は、地域の危険箇所を把握するため、毎年 1 回、タウンウォッチング（避難経路の点検等）の実施に努めます。

2 津波からの避難マニュアル（町内会のとりきめ）

(1) 避難開始前の行動	(2) 津波に関する情報の入手方法
1 揺れがおさまるまで身の安全を図る 原則として地震で揺れたら避難しますが、まずは机の下などに隠れて、落下物などから身を守りましょう。 2 家族や財産を守る 火を消し、初期消火をしましょう。また、家族の安否を確認しましょう。 3 余震に注意し、避難の準備をする 室内でガラスや落下物から身を守るためにスリッパや靴を履きましょう。また、非常用持出袋を用意しましょう。	1 防災行政無線・上越市防災ラジオ Jアラートにより地震・津波の情報をお伝えします。 2 携帯電話・スマートフォン 市域内にいる方には緊急速報「エリアメール」で地震・津波の情報をお伝えします。また、上越市安全メール・SNSでも補完情報などをお伝えします。
(3) 避難時に持ち出すものや装備・服装	(4) 避難の方法・避難先
1 動きやすく、安全な装備・服装 軍手、スニーカー、雨具、ヘルメット 上着 等 2 非常用持出袋の中身 非常食、懐中電灯、携帯ラジオ、ライター、体温計、マスク、ウェットティッシュ、アルコール消毒液 等 3 貴重品や日用品 財布、携帯電話 等	1 原則として徒歩で避難します。 2 原則として個々で避難しますが、可能な限り近隣に声を掛けて避難します。 3 原則として、町内または地域ごとにあらかじめ定められた指定緊急避難場所兼指定避難所を目指します。 ○指定緊急避難場所兼指定避難所 ・直江津小学校 ・レインボーセンター ※状況に応じて直江津南小学校など最寄りの指定緊急避難場所に避難する。 4 原則として津波の進入方向に避難することは、控えてください。川や水路に近付くことも危険です。 5 津波警報が解除されるまで、独自の判断で自宅に戻ってはいけません。 6 浸水想定外だから安全とは限りません。できるだけ高い場所を目標に避難しましょう。
(5) 避難行動要支援者の支援方法	
1 日ごろから、コミュニケーションを図り、状況の把握に努めましょう。 2 要支援者名簿を町内会で共有しておきます。 3 できるだけ、声を掛け合って、協力して避難しましょう。	

直江津区関川左岸地域 避難行動計画【中央一丁目・旭区町内会】 避難経路図



地域の情報

指定緊急避難場所 兼指定避難所	
指定緊急避難場所 (津波指定)	
指定緊急避難場所 (津波避難ビル)	
避難経路	
町内会が定めた 避難目標地点	

避難上の注意点

- 指定緊急避難場所兼指定避難所
・ 直江津小学校
・ レインボーセンター
- 避難行動の流れ
・ 直江津小学校校舎を目指し、避難行動を開始する。
・ 避難行動は、徒歩によることを原則とする。
・ 関川を渡って避難することは危険なため、春日新田方面へ避難することはしない。
・ できるだけ小路は通らず、大通りを通して避難する。
・ 状況に応じて、直江津南小学校など最寄りの指定緊急避難場所に避難する。
- ・ 津波警報等が解除されるまで、独自の判断で自宅に戻ることはせず、避難行動を継続する。
- 緊急持出品
・ 夜間の避難に備え、懐中電灯を携帯し避難する。

直江津区関川左岸地域 避難行動計画【中央二丁目・横町町内会】

1 津波から避難するための事前準備

(1) ひとりひとりが準備しておくこと

- ⇒ 津波災害の特性などの把握
 - ・上越市民防災ガイドブックや上越市津波ハザードマップ（災害予測地図）などで、津波の特性について学習しておきましょう。
- ⇒ 非常用持出袋や避難時の装備・服装の準備
 - ・津波は、警報等の解除まで時間がかかることがあります。避難先で数日間過ごすことになる場合に備え、非常用持出袋や避難時の装備・服装を準備しておきましょう。
 - ・上越市民防災ガイドブックや津波ハザードマップ（災害予測地図）には、準備しておくべきことの詳しい内容が載っていますので、よく読んでおきましょう。
- ⇒ 地域の避難経路、避難先の確認
 - ・避難行動計画の避難経路図や津波ハザードマップ（災害予測地図）を見て、自宅や職場・学校などからの避難経路や避難先を確認しておきましょう。
 - ・家庭や職場で津波発生時の取り決めや集合場所などを話し合っておきましょう。
- ⇒ 津波の情報や市からの緊急のお知らせの入手方法の点検や確認
 - ・試験放送などで、防災ラジオが受信できるか確認しておきましょう。
 - ・緊急速報「エリアメール」・緊急速報メールを受信できるか確認しておきましょう。

(2) 地域（町内会）で準備しておくこと

- ⇒ 避難行動要支援者の避難支援
 - ・要支援者情報の共有と個別計画の作成推進を図っています。
- ⇒ 避難経路の除雪
 - ・冬期の津波発生に備え、避難経路は日ごろから除雪に努めます。
- ⇒ 防災訓練の実施
 - ・町内会は、毎年 1 回、津波に備えた防災訓練の実施に努めます。
- ⇒ タウンウォッチング（避難経路の点検等）の実施
 - ・町内会は、地域の危険箇所を把握するため、毎年 1 回、タウンウォッチング（避難経路の点検等）の実施に努めます。

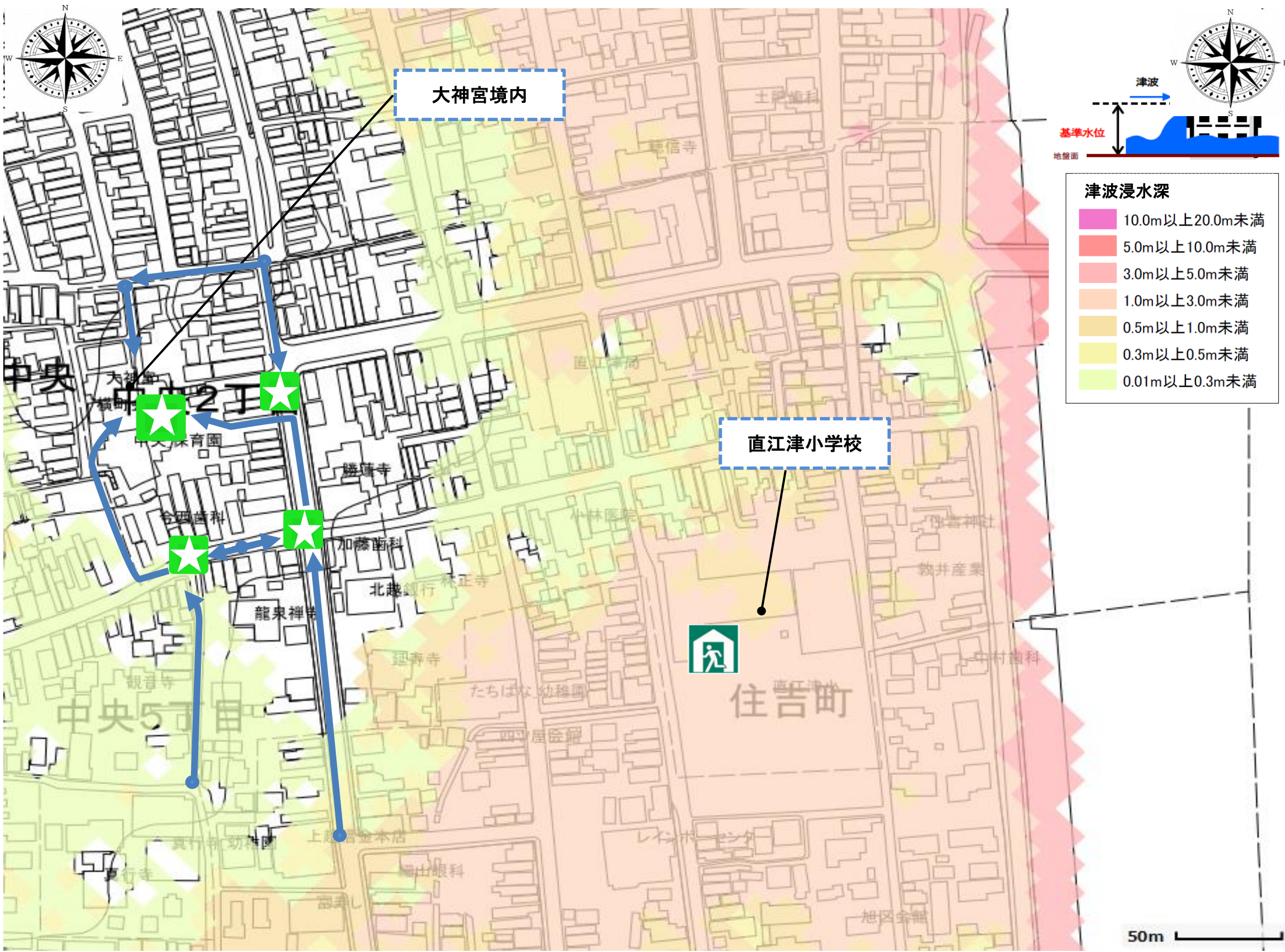
2 津波からの避難マニュアル（町内会のとりきめ）

(1) 避難開始前の行動	(2) 津波に関する情報の入手方法
1 揺れがおさまるまで身の安全を図る 原則として地震で揺れたら避難しますが、まずは机の下などに隠れて、落下物などから身を守りましょう。	1 防災行政無線・上越市防災ラジオ Jアラートにより地震・津波の情報をお伝えします。
2 家族や財産を守る 火を消し、初期消火をしましょう。また、家族の安否を確認しましょう。	2 携帯電話・スマートフォン 市域内にいる方には緊急速報「エリアメール」で地震・津波の情報をお伝えします。また、上越市安全メール・SNS でも補完情報などをお伝えします。
3 余震に注意し、避難の準備をする 室内でガラスや落下物から身を守るためにスリッパや靴を履きましょう。また、非常用持出袋を用意しましょう。	
(3) 避難時に持ち出すものや装備・服装	(4) 避難の方法・避難先
1 動きやすく、安全な装備・服装 軍手、スニーカー、雨具、ヘルメット 上着 等	1 原則として徒歩で避難します。 2 原則として個々で避難しますが、可能な限り近隣に声を掛けて避難します。 3 原則として、避難目標地点を目指します。（浸水想定区域外へ避難する）
2 非常用持出袋の中身 非常食、懐中電灯、携帯ラジオ、ライター、体温計、マスク、ウェットティッシュ、アルコール消毒液 等	○避難目標地点 ・大神宮境内 ・道路上 3 地点
3 貴重品や日用品 財布、携帯電話 等	○指定緊急避難場所兼指定避難所 ・直江津中学校
(5) 避難行動要支援者の支援方法	
1 日ごろから、コミュニケーションを図り、状況の把握に努めましょう。 2 要支援者名簿を町内会で共有しておきます。 3 できるだけ、声を掛け合って、協力して避難しましょう。	4 原則として津波の進入方向に避難することは、控えてください。川や水路に近付くことも危険です。 5 津波警報等が解除されるまで、独自の判断で自宅に戻ってはいけません。 6 浸水想定外だから安全とは限りません。できるだけ高い場所を目標に避難しましょう。

直江津区関川左岸地域

避難行動計画【中央二丁目・横町町内会】

避難経路図



地域の情報

指定緊急避難場所 兼指定避難所	
指定緊急避難場所 (津波指定)	
指定緊急避難場所 (津波避難ビル)	
避難経路	
町内会が定めた 避難目標地点	

避難上の注意点

○ 避難目標地点

- ・ 大神宮境内
- ・ 道路上 3地点
- ※避難場所は、大神宮境内

・ 経路図を参考に、居住地最寄りの最適な避難経路を選択し、避難する。

・ 避難行動は、徒歩によることを原則とする。

・ 津波浸水想定区域外への避難を原則とする。
(津波発生時の初動対応において、直江津中学校へ避難しない)

・ できるだけ小路は通らず、大通りを通して避難する。

・ 津波警報等が解除されるまでは、独自の判断で自宅に戻ることはせず、避難行動を継続する。

○ 緊急持出品

- ・ 夜間の避難に備え、懐中電灯を携帯し避難する。
- ・ 長期避難に備え、携帯ラジオなどの情報入手手段、非常食、防寒具を携帯し避難する。

直江津区関川左岸地域 避難行動計画【中央二丁目・本町町内会】

1 津波から避難するための事前準備

(1) ひとりひとりが準備しておくこと

- ⇒ 津波災害の特性などの把握
 - ・上越市民防災ガイドブックや上越市津波ハザードマップ（災害予測地図）などで、津波の特性について学習しておきましょう。
- ⇒ 非常用持出袋や避難時の装備・服装の準備
 - ・津波は、警報等の解除まで時間がかかることがあります。避難先で数日間過ごすことになる場合に備え、非常用持出袋や避難時の装備・服装を準備しておきましょう。
 - ・上越市民防災ガイドブックや津波ハザードマップ（災害予測地図）には、準備しておくべきことの詳しい内容が載っていますので、よく読んでおきましょう。
- ⇒ 地域の避難経路、避難先の確認
 - ・避難行動計画の避難経路図や津波ハザードマップ（災害予測地図）を見て、自宅や職場・学校などからの避難経路や避難先を確認しておきましょう。
 - ・家庭や職場で津波発生時の取り決めや集合場所などを話し合っておきましょう。
- ⇒ 津波の情報や市からの緊急のお知らせの入手方法の点検や確認
 - ・試験放送などで、防災ラジオが受信できるか確認しておきましょう。
 - ・緊急速報「エリアメール」・緊急速報メールを受信できるか確認しておきましょう。

(2) 地域（町内会）で準備しておくこと

- ⇒ 避難行動要支援者の避難支援
 - ・要支援者情報の共有と個別計画の作成推進を図っています。
- ⇒ 避難経路の除雪
 - ・冬期の津波発生に備え、避難経路は日ごろから除雪に努めます。
- ⇒ 防災訓練の実施
 - ・町内会は、毎年 1 回、津波に備えた防災訓練の実施に努めます。
- ⇒ タウンウォッチング（避難経路の点検等）の実施
 - ・町内会は、地域の危険箇所を把握するため、毎年 1 回、タウンウォッチング（避難経路の点検等）の実施に努めます。

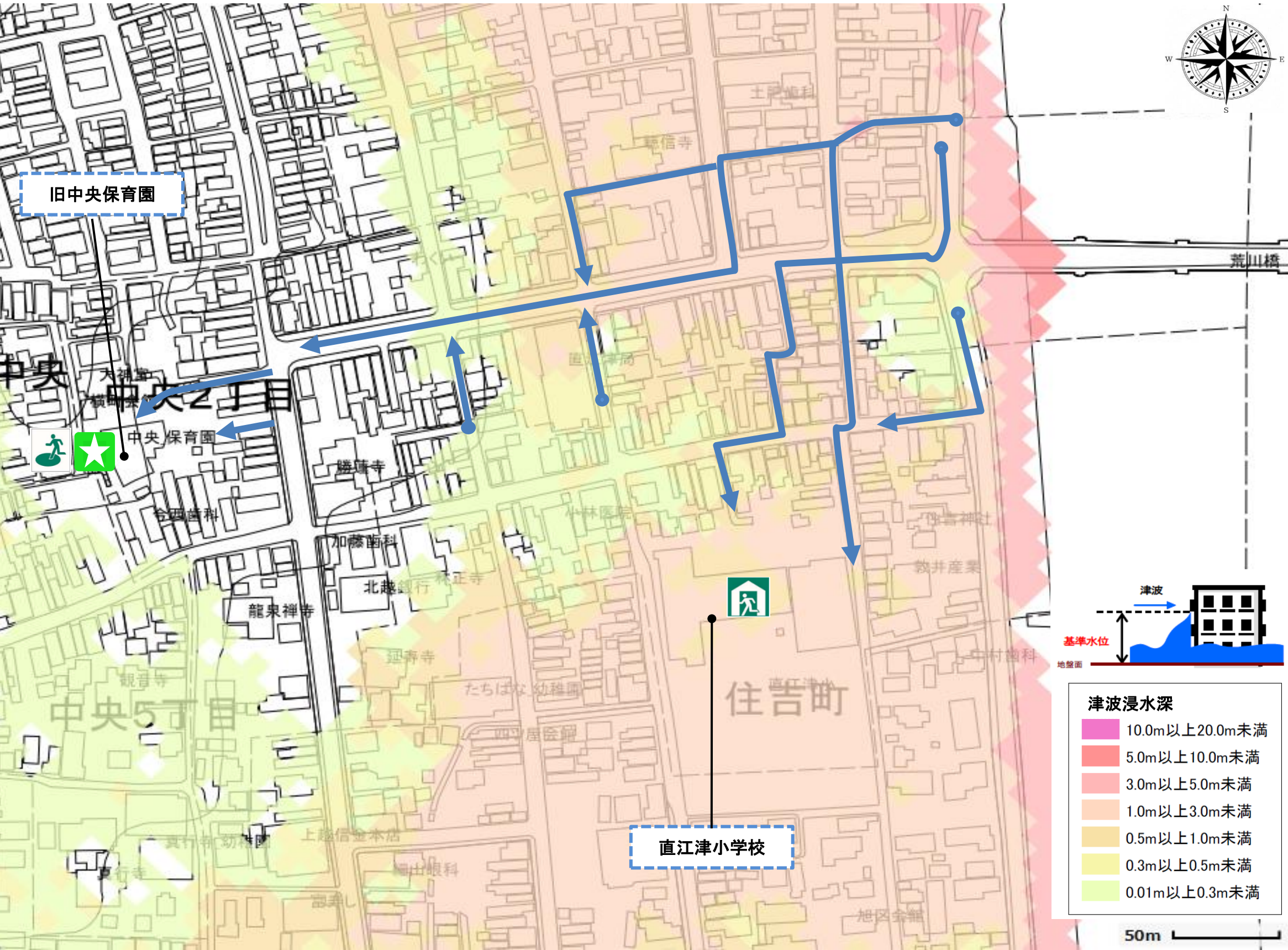
2 津波からの避難マニュアル（町内会のとりきめ）

(1) 避難開始前の行動	(2) 津波に関する情報の入手方法
1 揺れがおさまるまで身の安全を図る 原則として地震で揺れたら避難しますが、まずは机の下などに隠れて、落下物などから身を守りましょう。	1 防災行政無線・上越市防災ラジオ Jアラートによる地震・津波の情報をお伝えします。
2 家族や財産を守る 火を消し、初期消火をしましょう。また、家族の安否を確認しましょう。	2 携帯電話・スマートフォン 市域内にいる方には緊急速報「エリアメール」で地震・津波の情報をお伝えします。また、上越市安全メール・SNS でも補完情報などをお伝えします。
3 余震に注意し、避難の準備をする 室内でガラスや落下物から身を守るためにスリッパや靴を履きましょう。また、非常用持出袋を用意しましょう。	
(3) 避難時に持ち出すものや装備・服装	(4) 避難の方法・避難先
1 動きやすく、安全な装備・服装 軍手、スニーカー、雨具、ヘルメット 上着 等	1 原則として徒歩で避難します。
2 非常用持出袋の中身 非常食、懐中電灯、携帯ラジオ、ライター、体温計、マスク、ウェットティッシュ、アルコール消毒液 等	2 原則として個々で避難しますが、可能な限り近隣に声を掛けて避難します。
3 貴重品や日用品 財布、携帯電話 等	3 原則として、町内または地域ごとにあらかじめ定められた指定緊急避難場所・指定避難所に向かいます。
	○指定緊急避難場所兼指定避難所 ・直江津小学校（校舎 3 階以上又は屋上）
	○指定緊急避難場所 ・旧中央保育園（浸水想定区域外の場所）
	※中央二丁目・本町町内会では、各自が居住する場所から最寄りの指定緊急避難場所に避難することとします。
(5) 避難行動要支援者の支援方法	4 原則として津波の進入方向に避難することは、控えてください。川や水路に近付くことも危険です。
1 日ごろから、コミュニケーションを図り、状況の把握に努めましょう。	5 津波警報等が解除されるまで、独自の判断で自宅に戻ってはいけません。
2 要支援者名簿を町内会で共有しておきます。	6 浸水想定外だから安全とは限りません。できるだけ高い場所を目標に避難しましょう。
3 できるだけ、声を掛け合って、協力して避難しましょう。	

直江津区関川左岸地域

避難行動計画【中央二丁目・本町町内会】

避難経路図



地域の情報	
指定緊急避難場所 兼指定避難所	
指定緊急避難場所 (津波指定)	
指定緊急避難場所 (津波避難ビル)	
避難経路	
町内会が定めた 避難目標地点	
避難上の注意点 ○ 指定緊急避難場所兼指定避難所 ・ 直江津小学校 ○ 指定緊急避難場所 ・ 旧中央保育園 (浸水想定区域外の場所) ○ 避難行動の流れ - 経路図を参考に、最寄りの指定緊急避難場所に避難する。 - 避難行動は、徒歩によることを原則とする。 - 関川を渡って避難することは危険なため、川原町方面へ避難はしない。 - できるだけ小路は通らず、大通りを通して避難する。 - 直江津小学校内では、できるだけ高い階に避難する。 - 津波は繰り返し襲来するおそれがあるため、独自の判断で自宅に戻ることはせず、警報等の解除まで避難行動を継続する。 ○ 緊急持出品 - 夜間の避難に備え、懐中電灯を携帯し避難する。 - 長期避難に備え、携帯ラジオなどの情報入手手段、非常食、防寒具を携帯し避難する。	

直江津区関川左岸地域 避難行動計画【中央三丁目・荒川町町内会】

1 津波から避難するための事前準備

(1) ひとりひとりが準備しておくこと

- ⇒ 津波災害の特性などの把握
 - ・上越市民防災ガイドブックや上越市津波ハザードマップ（災害予測地図）などで、津波の特性について学習しておきましょう。
- ⇒ 非常用持出袋や避難時の装備・服装の準備
 - ・津波は、警報等の解除まで時間がかかることがあります。避難先で数日間過ごすことになる場合に備え、非常用持出袋や避難時の装備・服装を準備しておきましょう。
 - ・上越市民防災ガイドブックや津波ハザードマップ（災害予測地図）には、準備しておくべきことの詳しい内容が載っていますので、よく読んでおきましょう。
- ⇒ 地域の避難経路、避難先の確認
 - ・避難行動計画の避難経路図や津波ハザードマップ（災害予測地図）を見て、自宅や職場・学校などからの避難経路や避難先を確認しておきましょう。
 - ・家庭や職場で津波発生時の取り決めや集合場所などを話し合っておきましょう。
- ⇒ 津波の情報や市からの緊急のお知らせの入手方法の点検や確認
 - ・試験放送などで、防災ラジオが受信できるか確認しておきましょう。
 - ・緊急速報「エリアメール」・緊急速報メールを受信できるか確認しておきましょう。

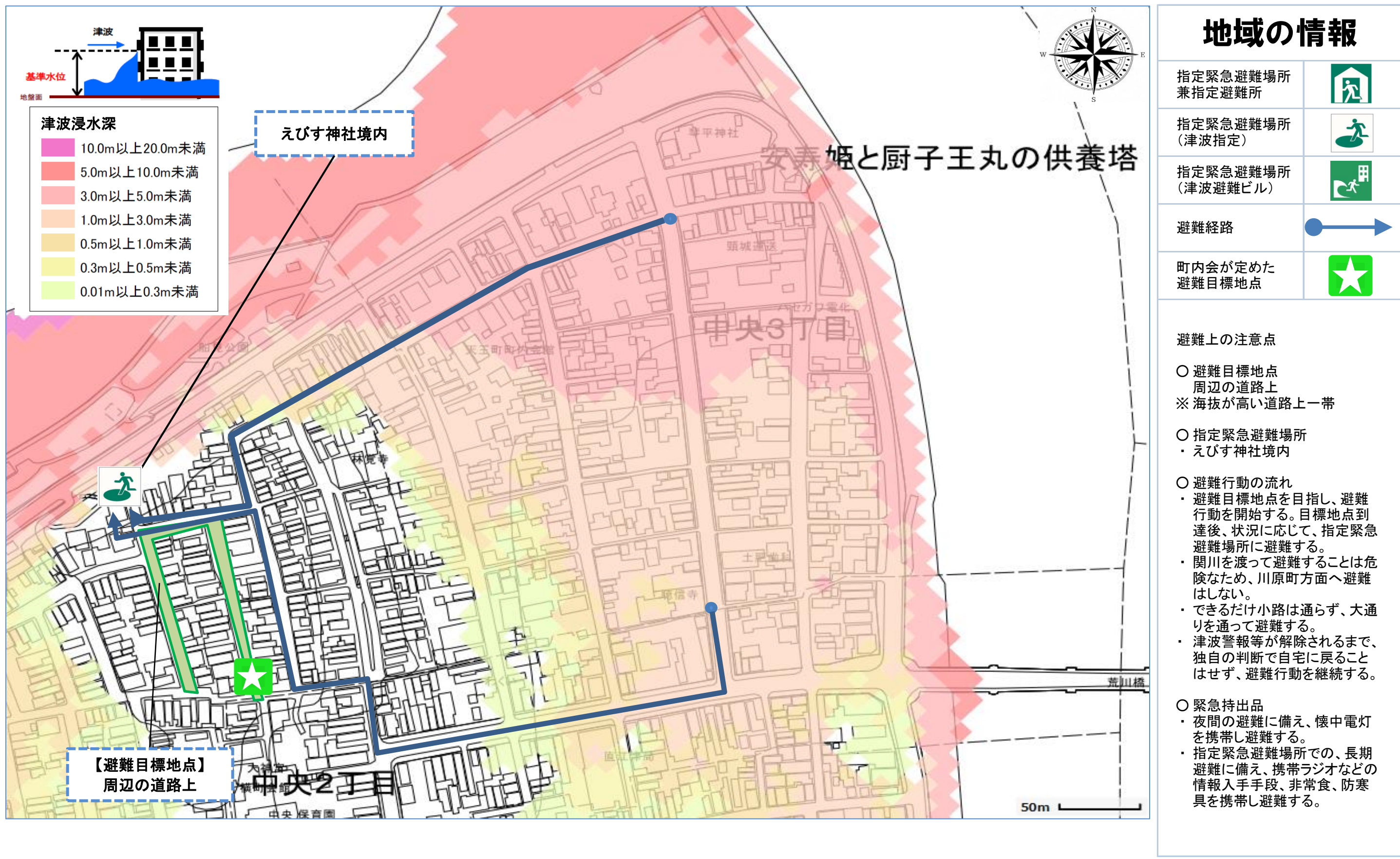
(2) 地域（町内会）で準備しておくこと

- ⇒ 避難行動要支援者の避難支援
 - ・要支援者情報の共有と個別計画の作成推進を図っています。
- ⇒ 避難経路の除雪
 - ・冬期の津波発生に備え、避難経路は日ごろから除雪に努めます。
 - ・要支援者宅の玄関前の除雪に努めます。
- ⇒ 防災訓練の実施
 - ・町内会は近隣町内会と合同で、毎年秋1回、津波に備えた防災訓練の実施に努めます。
- ⇒ タウンウォッチング（避難経路の点検等）の実施
 - ・町内会は、地域の危険箇所を把握するため、毎年1回、タウンウォッチング（避難経路の点検等）の実施に努めます。

2 津波からの避難マニュアル（町内会のとりきめ）

(1) 避難開始前の行動	(2) 津波に関する情報の入手方法
1 揺れがおさまるまで身の安全を図る 原則として地震で揺れたら避難しますが、まずは机の下などに隠れて、落下物などから身を守りましょう。 2 家族や財産を守る 火を消し、初期消火をしましょう。また、家族の安否を確認しましょう。 3 余震に注意し、避難の準備をする 室内でガラスや落下物から身を守るためにスリッパや靴を履きましょう。また、非常用持出袋を用意しましょう。	1 防災行政無線・上越市防災ラジオ Jアラートにより地震・津波の情報をお伝えします。 2 携帯電話・スマートフォン 市域内にいる方には緊急速報「エリアメール」で地震・津波の情報をお伝えします。また、上越市安全メール・SNSでも補完情報などをお伝えします。 3 町内会からお知らせ 町内会担当役員が、拡声器を使用して、災害の状況を周知します。
(3) 避難時に持ち出すものや装備・服装	(4) 避難の方法・避難先
1 動きやすく、安全な装備・服装 軍手、スニーカー、雨具、ヘルメット 上着 等 2 非常用持出袋の中身 非常食、懐中電灯、携帯ラジオ、ライター、体温計、マスク、ウェットティッシュ、アルコール消毒液 等 3 貴重品や日用品 財布、携帯電話 等	1 原則として徒歩で避難します。 2 原則として個々で避難しますが、可能な限り近隣に声を掛けて避難します。 3 原則として、避難目標地点を目指し、必要に応じて、指定緊急避難場所に向かいます。 ○避難目標地点 ・周辺の道路一帯（海拔の高い場所） ○指定緊急避難場所 ・えびす神社境内 4 原則として津波の進入方向に避難することは、控えてください。川や水路に近付くことも危険です。 5 津波警報等が解除されるまで、独自の判断で自宅に戻ってはいけません。 6 浸水想定外だから安全とは限りません。できるだけ高い場所を目標に避難しましょう。
(5) 避難行動要支援者の支援方法	
1 日ごろから、コミュニケーションを図り、状況の把握に努めましょう。 2 要支援者名簿を町内会で共有しておきます。 3 できるだけ、声を掛け合って、協力して避難しましょう。	

直江津区関川左岸地域 避難行動計画【中央三丁目・荒川町町内会】 避難経路図



直江津区関川左岸地域 避難行動計画【中央三丁目・天王町町内会】

1 津波から避難するための事前準備

(1) ひとりひとりが準備しておくこと

- ⇒ 津波災害の特性などの把握
 - ・上越市民防災ガイドブックや上越市津波ハザードマップ（災害予測地図）などで、津波の特性について学習しておきましょう。
- ⇒ 非常用持出袋や避難時の装備・服装の準備
 - ・津波は、警報等の解除まで時間がかかることがあります。避難先で数日間過ごすことになる場合に備え、非常用持出袋や避難時の装備・服装を準備しておきましょう。
 - ・上越市民防災ガイドブックや津波ハザードマップ（災害予測地図）には、準備しておくべきことの詳しい内容が載っていますので、よく読んでおきましょう。
- ⇒ 地域の避難経路、避難先の確認
 - ・避難行動計画の避難経路図や津波ハザードマップ（災害予測地図）を見て、自宅や職場・学校などからの避難経路や避難先を確認しておきましょう。
 - ・家庭や職場で津波発生時の取り決めや集合場所などを話し合っておきましょう。
- ⇒ 津波の情報や市からの緊急のお知らせの入手方法の点検や確認
 - ・試験放送などで、防災ラジオが受信できるか確認しておきましょう。
 - ・緊急速報「エリアメール」・緊急速報メールを受信できるか確認しておきましょう。

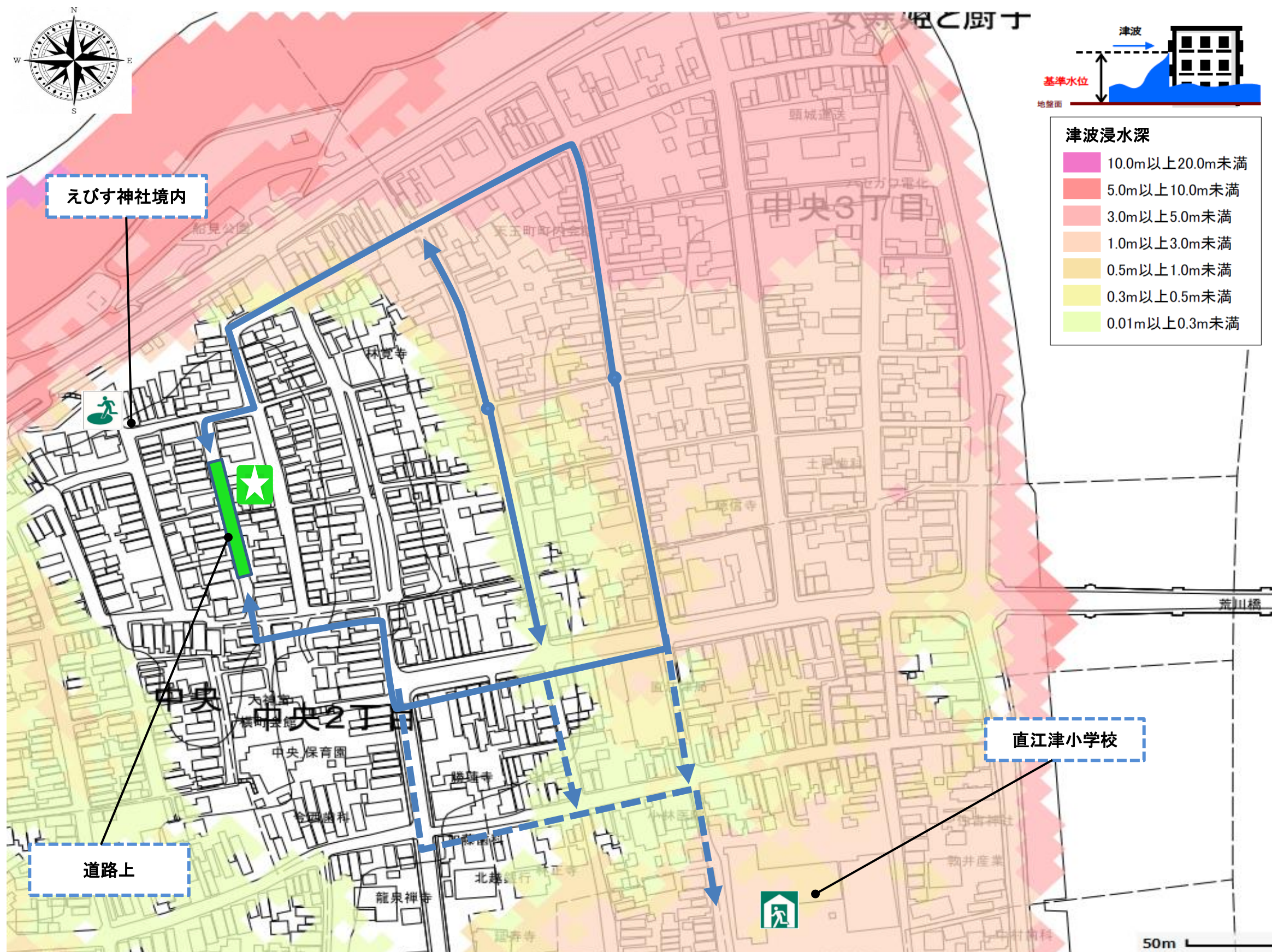
(2) 地域（町内会）で準備しておくこと

- ⇒ 避難行動要支援者の避難支援
 - ・要支援者情報の共有と個別計画の作成推進を図っています。
- ⇒ 避難経路の除雪
 - ・冬期の津波発生に備え、避難経路は日ごろから除雪に努めます。
- ⇒ 防災訓練の実施
 - ・町内会は、毎年1回、津波に備えた防災訓練の実施に努めます。
- ⇒ タウンウォッチング（避難経路の点検等）の実施
 - ・町内会は、地域の危険箇所を把握するため、毎年1回、タウンウォッチング（避難経路の点検等）の実施に努めます。

2 津波からの避難マニュアル（町内会のとりきめ）

(1) 避難開始前の行動	(2) 津波に関する情報の入手方法
1 揺れがおさまるまで身の安全を図る 原則として地震で揺れたら避難しますが、まずは机の下などに隠れて、落下物などから身を守りましょう。	1 防災行政無線・上越市防災ラジオ Jアラートによる地震・津波の情報をお伝えします。
2 家族や財産を守る 火を消し、初期消火をしましょう。また、家族の安否を確認しましょう。	2 携帯電話・スマートフォン 市域内にいる方には緊急速報「エリアメール」で地震・津波の情報をお伝えします。また、上越市安全メール・SNSでも補完情報などをお伝えします。
3 余震に注意し、避難の準備をする 室内でガラスや落下物から身を守るためにスリッパや靴を履きましょう。また、非常用持出袋を用意しましょう。	
(3) 避難時に持ち出すものや装備・服装	(4) 避難の方法・避難先
1 動きやすく、安全な装備・服装 軍手、スニーカー、雨具、ヘルメット 上着 等	1 原則として徒歩で避難します。 2 原則として個々で避難しますが、可能な限り近隣に声を掛けて避難します。 3 原則として、避難目標地点又は指定緊急避難場所・指定避難所に向かいます。
2 非常用持出袋の中身 非常食、懐中電灯、携帯ラジオ、ライター、体温計、マスク、ウェットティッシュ、アルコール消毒液 等	○避難目標地点 ・道路上（中央4丁目11番10号付近）
3 貴重品や日用品 財布、携帯電話 等	○指定緊急避難場所 えびす神社付近
(5) 避難行動要支援者の支援方法	
1 日ごろから、コミュニケーションを図り、状況の把握に努めましょう。 2 要支援者名簿を町内会で共有しておきます。 3 できるだけ、声を掛け合って、協力して避難しましょう。	○指定避難所 ・直江津小学校 ※警報等が解除され次第必要に応じて移動
	4 原則として津波の進入方向に避難することは、控えてください。川や水路に近付くことも危険です。 5 津波警報等が解除されるまで、独自の判断で自宅に戻ってはいけません。

直江津区関川左岸地域 避難行動計画【中央三丁目・天王町町内会】 避難経路図



地域の情報

指定緊急避難場所 兼指定避難所	
指定緊急避難場所 (津波指定)	
指定緊急避難場所 (津波避難ビル)	
避難経路	
町内会が定めた 避難目標地点	

避難上の注意点

- 避難目標地点
 - ・ 道路上
中央4丁目11番10号付近
※浸水想定区域外の場合
- 指定緊急避難場所
 - ・ えびす神社境内
- 避難行動の流れ
 - ・ 避難目標地点を目指し、避難行動を開始する。
 - ・ できるだけ小路は通らず、大通りを通して避難する。個々の判断で小路を通ることも可。
 - ・ 津波は繰り返し襲来するおそれがあるため、独自の判断で自宅に戻ることはせず、警報等の解除まで避難行動を継続する。
 - ・ 指定避難所(直江津小学校)へは、津波警報が解除されてから移動する。
- 緊急持出品
 - ・ 夜間の避難に備え、懐中電灯を携帯し避難する。
 - ・ 指定緊急避難場所での、長期避難に備え、携帯ラジオなどの情報入手手段、非常食、防寒具を携帯し避難する。

直江津区関川左岸地域 避難行動計画【中央四丁目・福永町町内会】

1 津波から避難するための事前準備

(1) ひとりひとりが準備しておくこと

- ⇒ 津波災害の特性などの把握
- ・上越市民防災ガイドブックや上越市津波ハザードマップ（災害予測地図）などで、津波の特性について学習しておきましょう。
- ⇒ 非常用持出袋や避難時の装備・服装の準備
- ・津波は、警報等の解除まで時間がかかることがあります。避難先で数日間過ごすことになる場合に備え、非常用持出袋や避難時の装備・服装を準備しておきましょう。
 - ・上越市民防災ガイドブックや津波ハザードマップ（災害予測地図）には、準備しておくべきことの詳しい内容が載っていますので、よく読んでおきましょう。
- ⇒ 地域の避難経路、避難先の確認
- ・避難行動計画の避難経路図や津波ハザードマップ（災害予測地図）を見て、自宅や職場・学校などからの避難経路や避難先を確認しておきましょう。
 - ・家庭や職場で津波発生時の取り決めや集合場所などを話し合っておきましょう。
- ⇒ 津波の情報や市からの緊急のお知らせの入手方法の点検や確認
- ・試験放送などで、防災ラジオが受信できるか確認しておきましょう。
 - ・緊急速報「エリアメール」・緊急速報メールを受信できるか確認しておきましょう。

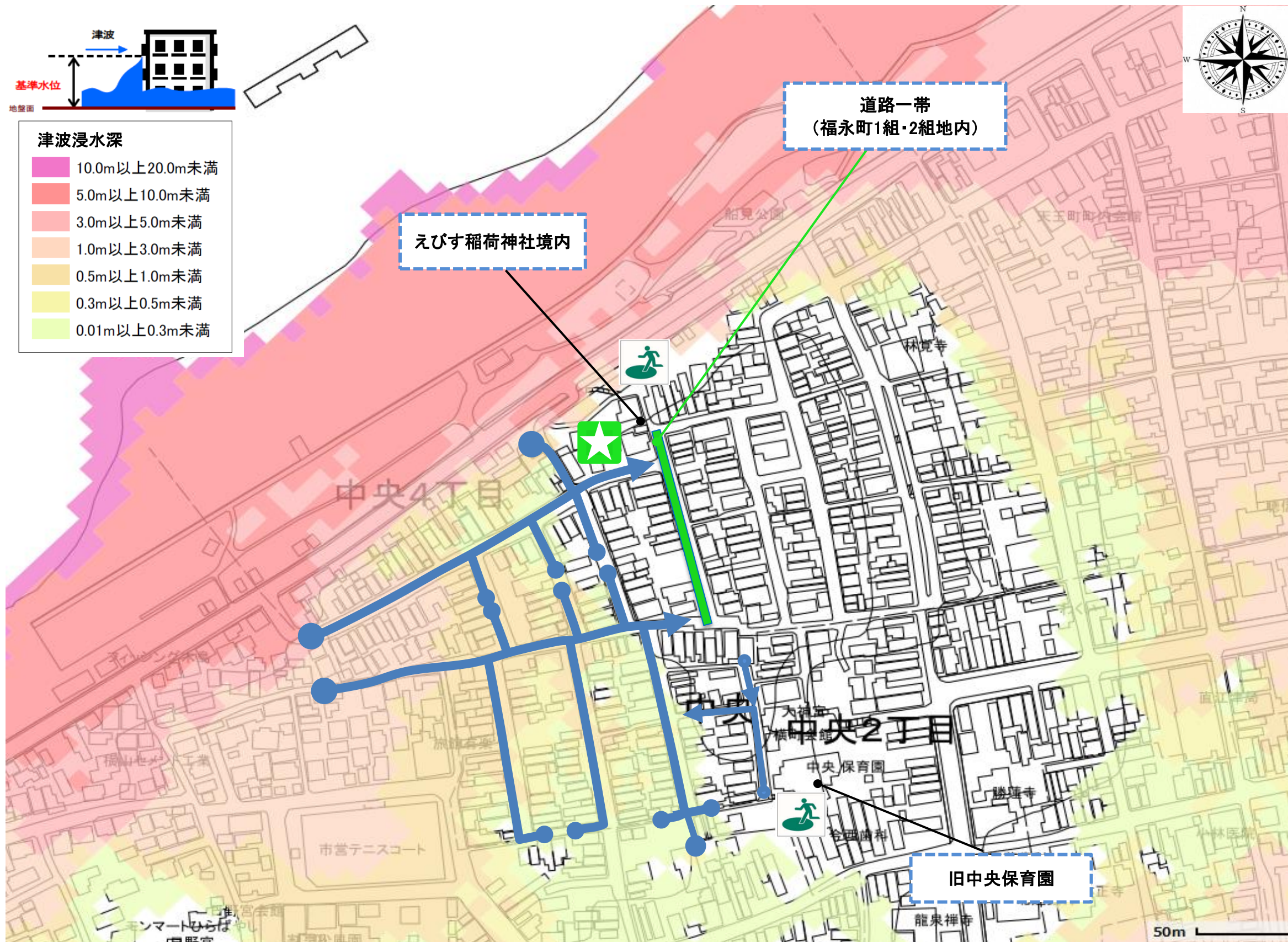
(2) 地域（町内会）で準備しておくこと

- ⇒ 避難行動要支援者の避難支援
- ・要支援者情報の共有と個別計画の作成推進を図っています。
- ⇒ 避難経路の除雪
- ・冬期の津波発生に備え、避難経路は日ごろから除雪に努めます。
- ⇒ 防災訓練の実施
- ・町内会は、毎年9月に津波に備えた防災訓練を実施します。
 - ・要支援者の把握と移送に重点を置いた訓練を実施します。
- ⇒ タウンウォッチング（避難経路の点検等）の実施
- ・防災週間の際に、危険個所の把握のためタウンウォッチングを実施しています。
 - ・拡大役員会で避難経路の話し合いを行っています。

2 津波からの避難マニュアル（町内会のとりきめ）

(1) 避難開始前の行動	(2) 津波に関する情報の入手方法
1 揺れがおさまるまで身の安全を図る 原則として地震で揺れたら避難しますが、まずは机の下などに隠れて、落下物などから身を守りましょう。 2 家族や財産を守る 火を消し、初期消火をしましょう。また、家族の安否を確認しましょう。 3 余震に注意し、避難の準備をする 室内でガラスや落下物から身を守るためにスリッパや靴を履きましょう。また、非常用持出袋を用意しましょう。	1 防災行政無線・上越市防災ラジオ Jアラートにより地震・津波の情報をお伝えします。 2 携帯電話・スマートフォン 市域内にいる方には緊急速報「エリアメール」で地震・津波の情報をお伝えします。また、上越市安全メール・SNSでも補完情報などをお伝えします。
(3) 避難時に持ち出すものや装備・服装	(4) 避難の方法・避難先
1 動きやすく、安全な装備・服装 軍手、スニーカー、雨具、ヘルメット 上着 等 2 非常用持出袋の中身 非常食、懐中電灯、携帯ラジオ、ライター、体温計、マスク、ウェットティッシュ、アルコール消毒液 等 3 貴重品や日用品 財布、携帯電話 等	1 原則として徒歩で避難します。 2 原則として個々で避難しますが、可能な限り近隣に声を掛けて避難します。 3 原則として、避難目標地点を目指します。 ○避難目標地点 ・道路上一帯（1組、2組道路上） （標高の高い避難場所に適した場所） ※えびす稻荷神社境内への避難は禁止 ○指定緊急避難場所兼指定避難所 ・直江津小学校 4 原則として津波の進入方向に避難することは、控えてください。川や水路に近付くことも危険です。 5 津波警報等が解除されるまで、独自の判断で自宅に戻ってはいけません。 6 浸水想定外だから安全とは限りません。できるだけ高い場所を目標に避難しましょう。
(5) 避難行動要支援者の支援方法	
1 日ごろから、コミュニケーションを図り、状況の把握に努めましょう。 2 要支援者名簿を町内会で共有しておきます。 3 できるだけ、声を掛け合って、協力して避難しましょう。 4 町内各理事と防災担当が組内の要支援者の確認を行っています。	

直江津区関川左岸地域 避難行動計画【中央四丁目・福永町町内会】 避難経路図



地域の情報	
指定緊急避難場所 兼指定避難所	
指定緊急避難場所 (津波指定)	
指定緊急避難場所 (津波避難ビル)	
避難経路	
町内会が定めた 避難目標地点	
避難上の注意点 ○ 避難目標地点 ・ 道路一帯(福永町1組・2組地内) ※避難目標地点に避難し、えびす稲荷神社境内へは避難しない ○ 避難行動の流れ ・ 町内の集合場所は、避難目標地点の道路一帯とする。 ・ 避難行動は、徒歩によることを原則とする。 ・ できるだけ小路は通らず、大通りを通して避難する。 ・ 津波警報等が解除されるまでは、独自の判断で自宅に戻ることはせず、避難行動を継続する。 ・ 指定避難所(直江津小学校)へは、津波警報等が解除されてから移動する。 ○ 緊急持出品 ・ 夜間の避難に備え、懐中電灯を携帯し避難する。	

直江津区関川左岸地域 避難行動計画【中央四丁目・沖見町町内会】

1 津波から避難するための事前準備

(1) ひとりひとりが準備しておくこと

- ⇒ 津波災害の特性などの把握
 - ・上越市民防災ガイドブックや上越市津波ハザードマップ（災害予測地図）などで、津波の特性について学習しておきましょう。
- ⇒ 非常用持出袋や避難時の装備・服装の準備
 - ・津波は、警報等の解除まで時間がかかることがあります。避難先で数日間過ごすことになる場合に備え、非常用持出袋や避難時の装備・服装を準備しておきましょう。
 - ・上越市民防災ガイドブックや津波ハザードマップ（災害予測地図）には、準備しておくべきことの詳しい内容が載っていますので、よく読んでおきましょう。
- ⇒ 地域の避難経路、避難先の確認
 - ・避難行動計画の避難経路図や津波ハザードマップ（災害予測地図）を見て、自宅や職場・学校などからの避難経路や避難先を確認しておきましょう。
 - ・小路を通らず、決められた大通りを通して避難しましょう。
 - ・家庭や職場で津波発生時の取り決めや集合場所などを話し合っておきましょう。
 - ・冬期には避難経路確保のため、各自家庭での除雪に努めましょう。
- ⇒ 津波の情報や市からの緊急のお知らせの入手方法の点検や確認
 - ・試験放送などで、防災ラジオが受信できるか確認しておきましょう。
 - ・緊急速報「エリアメール」・緊急速報メールを受信できるか確認しておきましょう。

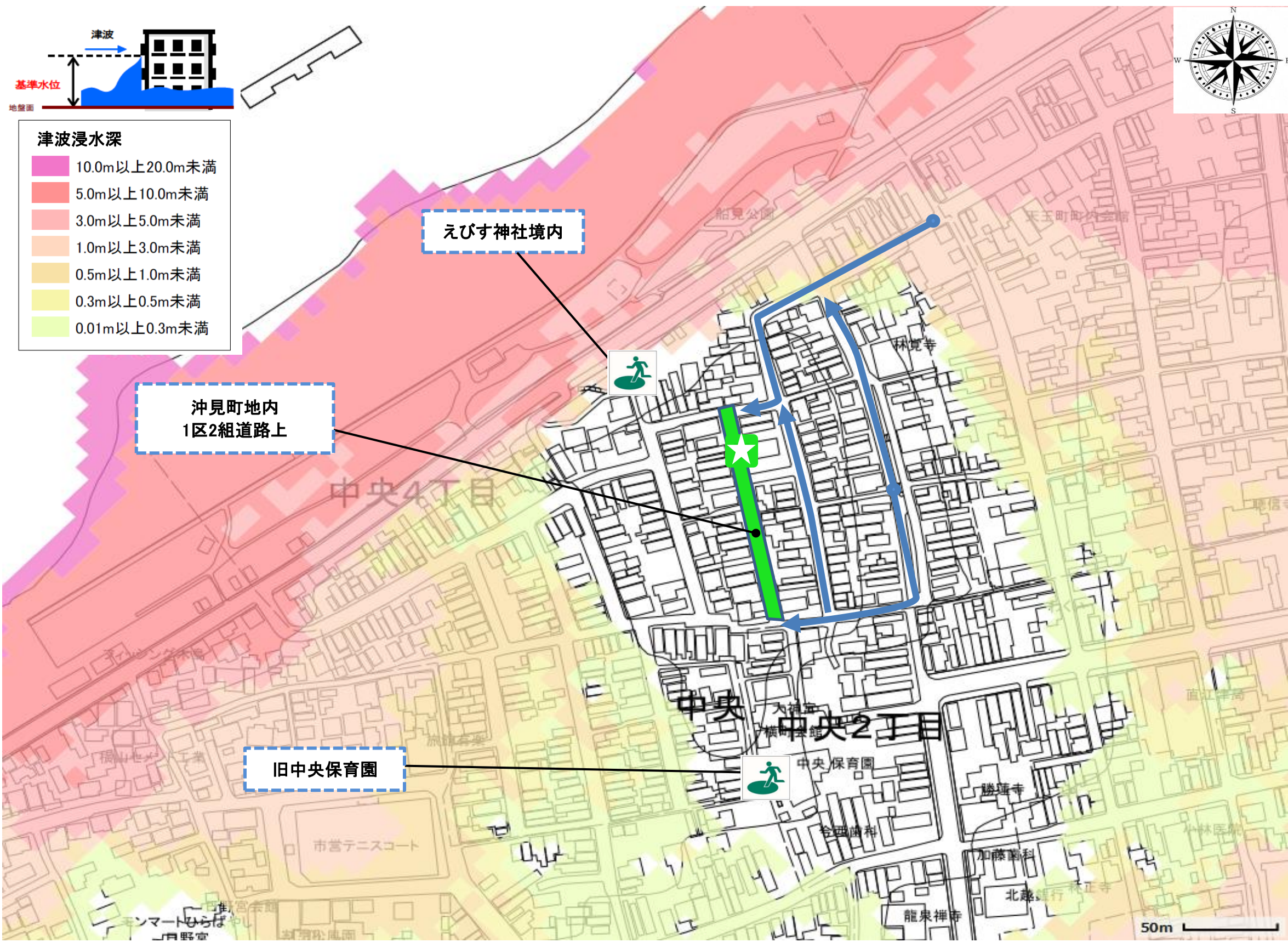
(2) 地域（町内会）で準備しておくこと

- ⇒ 避難行動要支援者の避難支援
 - ・要支援者情報の共有と個別計画の作成推進を図っています。
- ⇒ 避難経路の除雪
 - ・冬期の津波発生に備え、避難経路は日ごろから除雪に努めます。
- ⇒ 防災訓練の実施
 - ・町内会は、毎年1回、津波に備えた防災訓練を実施します。
- ⇒ タウンウォッチング（避難経路の点検等）の実施
 - ・町内会は、防災訓練に合わせ避難経路の点検を実施します。

2 津波からの避難マニュアル（町内会のとりきめ）

(1) 避難開始前の行動	(2) 津波に関する情報の入手方法
1 揺れがおさまるまで身の安全を図る 原則として地震で揺れたら避難しますが、まずは机の下などに隠れて、落下物などから身を守りましょう。	1 防災行政無線・上越市防災ラジオ Jアラートにより地震・津波の情報をお伝えします。
2 家族や財産を守る 火を消し、初期消火をしましょう。また、家族の安否を確認しましょう。	2 携帯電話・スマートフォン 市域内にいる方には緊急速報「エリアメール」で地震・津波の情報をお伝えします。また、上越市安全メール・SNSでも補完情報などをお伝えします。
3 余震に注意し、避難の準備をする 室内でガラスや落下物から身を守るためにスリッパや靴を履きましょう。また、非常用持出袋を用意しましょう。	
(3) 避難時に持ち出すものや装備・服装	(4) 避難の方法・避難先
1 動きやすく、安全な装備・服装 軍手、スニーカー、雨具、ヘルメット 上着 等	1 原則として徒歩で避難します。
2 非常用持出袋の中身 非常食、懐中電灯、携帯ラジオ、ライター、体温計、マスク、ウェットティッシュ、アルコール消毒液 等	2 原則として個々で避難しますが、可能な限り近隣に声を掛けて避難します。
3 貴重品や日用品 財布、携帯電話 等	3 原則として、避難目標地点に向かいます。
	○避難目標地点 ・沖見町地内 1 区 2 組道路上 ※図示の箇所付近は海拔が高く、避難場所に適している。
	○指定緊急避難場所 えびす神社境内 ※状況に応じて、避難する。
(5) 避難行動要支援者の支援方法	4 原則として津波の進入方向に避難することは、控えてください。川や水路に近付くことも危険です。
1 日ごろから、コミュニケーションを図り、状況の把握に努めましょう。	5 津波警報等が解除されるまで、独自の判断で自宅に戻ってはいけません。
2 要支援者名簿を町内会で共有しておきます。	6 浸水想定外だから安全とは限りません。できるだけ高い場所を目標に避難しましょう。
3 町内会役員で、要支援者の安否確認を行います。	
4 町内でリヤカー、担架を購入しています。	

直江津区関川左岸地域 避難行動計画【中央四丁目・沖見町町内会】 避難経路図



地域の情報

指定緊急避難場所 兼指定避難所	
指定緊急避難場所 (津波指定)	
指定緊急避難場所 (津波避難ビル)	
避難経路	
町内会が定めた 避難目標地点	

- 避難上の注意点
- 避難目標地点
 - ・ 沖見町地内1区2組道路上
 - ※ 図示の箇所付近は海拔が高く、避難場所に適している
 - 指定緊急避難場所
 - ・ えびす神社境内
 - 避難行動の流れ
 - ・ 避難目標地点を目指し、避難行動を開始する。必要に応じて、指定緊急避難場所に避難する。
 - ・ 避難行動は、徒歩によることを原則とする。
 - ・ できるだけ小路は通らず、大通りを通して避難する。
 - ・ 津波警報等が解除されるまでは、独自の判断で自宅に戻ることはせず、避難行動を継続する。
 - 緊急持出品
 - ・ 夜間の避難に備え、懐中電灯を携帯し避難する。
 - ・ 指定緊急避難場所での、長期避難に備え、携帯ラジオなどの情報入手手段、非常食、防寒具を携帯し避難する。

直江津区関川左岸地域 避難行動計画【中央五丁目・塩浜町町内会】（徒歩での避難）

1 津波から避難するための事前準備

(1) ひとりひとりが準備しておくこと

- ⇒ 津波災害の特性などの把握
 - ・上越市民防災ガイドブックや上越市津波ハザードマップ（災害予測地図）などで、津波の特性について学習しておきましょう。
- ⇒ 非常用持出袋や避難時の装備・服装の準備
 - ・津波は、警報等の解除まで時間がかかることがあります。避難先で数日間過ごすことになる場合に備え、非常用持出袋や避難時の装備・服装を準備しておきましょう。
 - ・上越市民防災ガイドブックや津波ハザードマップ（災害予測地図）には、準備しておくべきことの詳しい内容が載っていますので、よく読んでおきましょう。
- ⇒ 地域の避難経路、避難先の確認
 - ・避難行動計画の避難経路図や津波ハザードマップ（災害予測地図）を見て、自宅や職場・学校などからの避難経路や避難先を確認しておきましょう。
- ⇒ 津波の情報や市からの緊急のお知らせの入手方法の点検や確認
 - ・試験放送などで、防災ラジオが受信できるか確認しておきましょう。
 - ・緊急速報「エリアメール」・緊急速報メールを受信できるか確認しておきましょう。

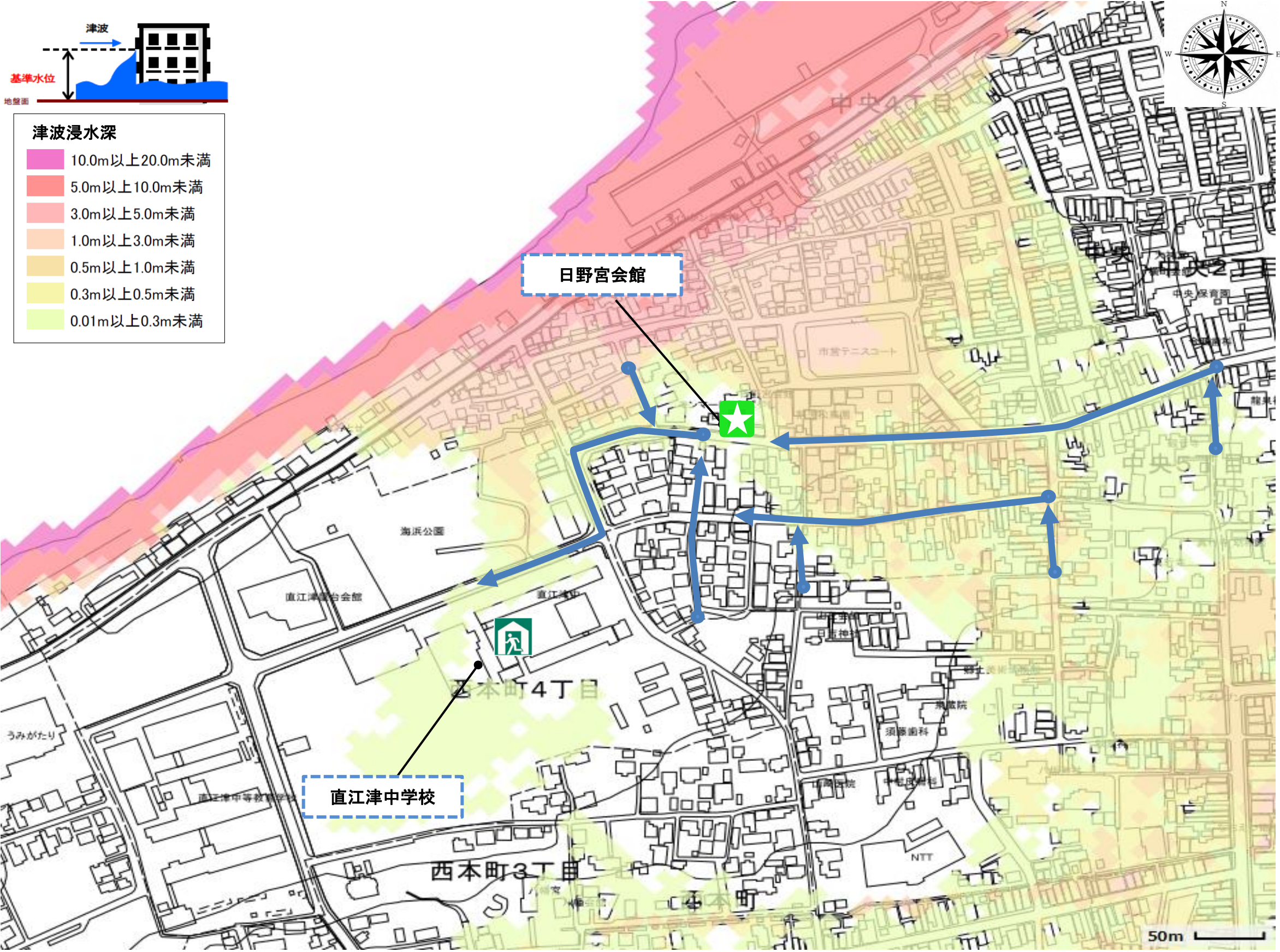
(2) 地域（町内会）で準備しておくこと

- ⇒ 避難行動要支援者の避難支援
 - ・要支援者情報の共有と個別計画の作成推進を図っています。
- ⇒ 避難経路の除雪
 - ・冬期の津波発生に備え、避難経路は日ごろから除雪に努めます。
- ⇒ 防災訓練の実施
 - ・町内会は、毎年1回、津波に備えた避難訓練を実施に努めます。
- ⇒ タウンウォッチング（避難経路の点検等）の実施
 - ・町内会は、地域の危険箇所を把握するため、毎年1回、タウンウォッチング（避難経路の点検等）の実施に努めます。

2 津波からの避難マニュアル（町内会のとりきめ）

(1) 避難開始前の行動	(2) 津波に関する情報の入手方法
1 揺れがおさまるまで身の安全を図る 原則として地震で揺れたら避難しますが、まずは机の下などに隠れて、落下物などから身を守りましょう。	1 防災行政無線・上越市防災ラジオ Jアラートにより地震・津波の情報をお伝えします。
2 家族や財産を守る 火を消し、初期消火をしましょう。また、家族の安否を確認しましょう。	2 携帯電話・スマートフォン 市域内にいる方には緊急速報「エリアメール」で地震・津波の情報をお伝えします。また、上越市安全メール・SNSでも補完情報などをお伝えします。
3 余震に注意し、避難の準備をする 室内でガラスや落下物から身を守るためにスリッパや靴を履きましょう。また、非常用持出袋を用意しましょう。	
(3) 避難時に持ち出すものや装備・服装	(4) 避難の方法・避難先
1 動きやすく、安全な装備・服装 軍手、スニーカー、雨具、ヘルメット 上着 等	1 原則として徒歩で避難します。 2 原則として個々で避難しますが、可能な限り近隣に声を掛けて避難します。 3 原則として、避難目標地点を目指し、状況に応じて、指定緊急避難場所兼指定避難所に向かいます。
2 非常用持出袋の中身 非常食、懐中電灯、携帯ラジオ、ライター、体温計、マスク、ウェットティッシュ、アルコール消毒液 等	○避難目標地点 ・日野宮会館
3 貴重品や日用品 財布、携帯電話 等	○指定緊急避難場所兼指定避難所 ・直江津中学校
(5) 避難行動要支援者の支援方法	
1 日ごろから、コミュニケーションを図り、状況の把握に努めましょう。 2 要支援者名簿を町内会で共有しておきます。 3 できるだけ、声を掛け合って、協力して避難しましょう。	4 原則として津波の進入方向に避難することは、控えてください。川や水路に近付くことも危険です。 5 津波警報等が解除されるまで、独自の判断で自宅に戻ってはいけません。 6 浸水想定外だから安全とは限りません。できるだけ高い場所を目標に避難しましょう。

直江津区関川左岸地域 避難行動計画【中央五丁目・塩浜町町内会】（徒歩での避難）



地域の情報	
指定緊急避難場所 兼指定避難所	
指定緊急避難場所 (津波指定)	
指定緊急避難場所 (津波避難ビル)	
避難経路	
町内会が定めた 避難目標地点	
避難上の注意点	
○ 避難目標地点 ・ 日野宮会館	
○ 指定緊急避難場所兼指定避難所 ・ 直江津中学校	
○ 避難行動の流れ ・ 避難行動は、徒歩によることを原則とする。 ・ 避難目標地点を目指し、避難行動を開始する。(町内の参道等を通行する) ・ 道路がガレキ等により通行できない場合は、より広い又は高い道路に迂回し、避難する。 ・ できるだけ小路は通らず、大通りを通して避難する。 ・ 季節・天候・時間帯などの状況に応じ、直接、指定避難所の直江津中学校を目指す。 ・ 津波警報等が解除されるまで、独自の判断で自宅に戻ることはせず、避難行動を継続する。	
○ 緊急持出品 ・ 夜間の避難に備え、懐中電灯を携帯し避難する。	

直江津区関川左岸地域

避難行動計画【中央5丁目・塩浜町町内会】（自動車での避難）

1

津波から避難するための事前準備

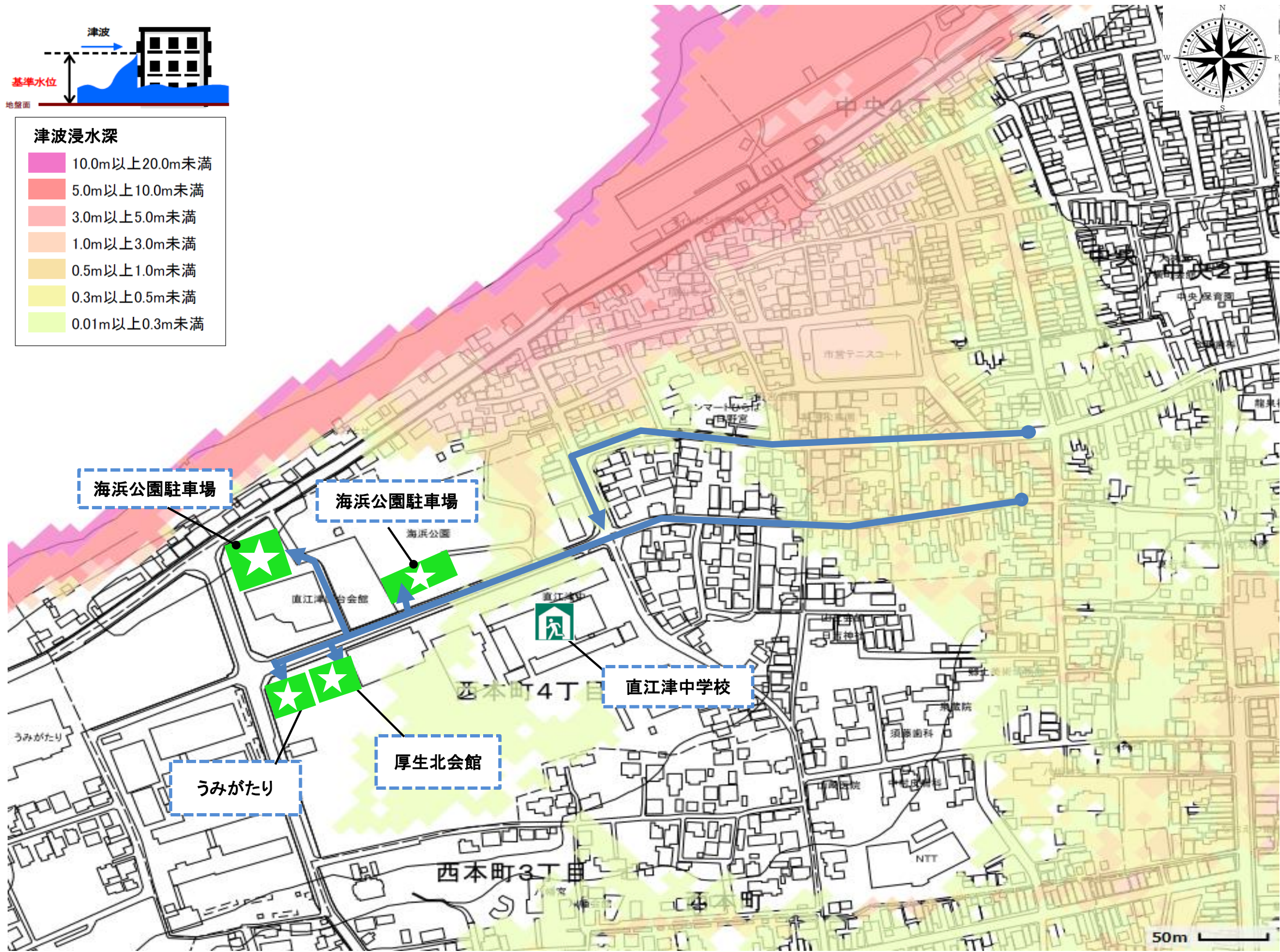
- (1) 車での避難対象者の避難支援
- ①町内会で、車での避難対象者を確認しておきます。
- ②車での避難対象者をどこへの経路で避難するかを確認しておきます。
- (2) 車での避難対象者が避難した後の連絡（手段、連絡する人等）
- ①車での避難対象者が駐車場等に避難した後に、避難者と連絡する手段や連絡する人等を確認しておきます。
- (3) 防災訓練の実施
- ①町内会は近隣町内会と合同で、毎年秋1回、津波に備えた防災訓練の実施に努めます。
- (4) タウンウォッチング（避難経路の点検等）の実施
- ①町内会は、地域の危険箇所を把握するため、毎年1回、タウンウォッチング（避難経路の点検等）の実施に努めます。

2

津波からの避難マニュアル（町内会のとりきめ）

(1) 避難開始前の行動	(2) 津波に関する情報の入手方法
1 揺れがおさまるまで身の安全を図る 原則として地震で揺れたら避難しますが、まずは机の下などに隠れて、落下物などから身を守りましょう。 2 家族や財産を守る 火を消し、初期消火をしましょう。また、家族の安否を確認しましょう。 3 余震に注意し、避難の準備をする 室内でガラスや落下物から身を守るためにスリッパや靴を履きましょう。また、非常用持出袋を用意しましょう。	1 防災行政無線・上越市防災ラジオ Jアラートにより地震・津波の情報をお伝えします。 2 携帯電話・スマートフォン 市域内にいる方には緊急速報「エリアメール」で地震・津波の情報をお伝えします。また、上越市安全メール・SNSでも補完情報などをお伝えします。 3 町内会からお知らせ 町内会担当役員が、拡声器を使用して、災害の状況を周知します。
(3) 避難時に持ち出すものや装備・服装	(4) 避難の方法・避難先
1 動きやすく、安全な装備・服装 軍手、スニーカー、雨具、ヘルメット 上着 等 2 非常用持出袋の中身 非常食、懐中電灯、携帯ラジオ、ライター、体温計、マスク、ウェットティッシュ、アルコール消毒液 等 3 貴重品や日用品 財布、携帯電話 等	1 あらかじめ決めた避難経路や避難先を基に、避難します。 ○避難目標地点 ・直江津屋台会館駐車場 ・海浜公園駐車場 ・直江津中学校駐車場 ・うみがたり第2駐車場 2 地震発生に伴う停電や、道路渋滞を考慮し、避難経路を数パターン想定しておきます。

直江津区関川左岸地域 避難行動計画【中央五丁目・塩浜町町内会】（自動車での避難）



地域の情報

指定緊急避難場所 兼指定避難所	
指定緊急避難場所 (津波指定)	
指定緊急避難場所 (津波避難ビル)	
避難経路	
町内会が定めた 避難目標地点	

避難上の注意点

- 避難目標地点
 - ・ 直江津屋台会館駐車場
 - ・ 海浜公園駐車場
 - ・ 直江津中学校駐車場
 - ・ うみがたり第2駐車場
- 避難行動の流れ
 - ・ 道路がガレキ等により通行できない場合は、より広い又は高い道路に迂回し、避難する。
 - ・ できるだけ小路は通らず、大通りを通して避難する。
 - ・ 津波警報等が解除されるまで、独自の判断で自宅に戻ることはせず、避難行動を継続する。

直江津区関川左岸地域 避難行動計画【中央五丁目・浜町町内会】（徒歩での避難）

1 津波から避難するための事前準備

(1) ひとりひとりが準備しておくこと

- ⇒ 津波災害の特性などの把握
 - ・上越市民防災ガイドブックや上越市津波ハザードマップ（災害予測地図）などで、津波の特性について学習しておきましょう。
- ⇒ 非常用持出袋や避難時の装備・服装の準備
 - ・津波は、警報等の解除まで時間がかかることがあります。避難先で数日間過ごすことになる場合に備え、非常用持出袋や避難時の装備・服装を準備しておきましょう。
 - ・上越市民防災ガイドブックや津波ハザードマップ（災害予測地図）には、準備しておくべきことの詳しい内容が載っていますので、よく読んでおきましょう。
- ⇒ 地域の避難経路、避難先の確認
 - ・避難行動計画の避難経路図や津波ハザードマップ（災害予測地図）を見て、自宅や職場・学校などからの避難経路や避難先を確認しておきましょう。
 - ・家庭や職場で津波発生時の取り決めや集合場所などを話し合っておきましょう。
 - ・各家庭で2箇所の避難出口を確保するため、冬期間は除雪に努めましょう。
- ⇒ 津波の情報や市からの緊急のお知らせの入手方法の点検や確認
 - ・試験放送などで、防災ラジオが受信できるか確認しておきましょう。
 - ・緊急速報「エリアメール」・緊急速報メールを受信できるか確認しておきましょう。

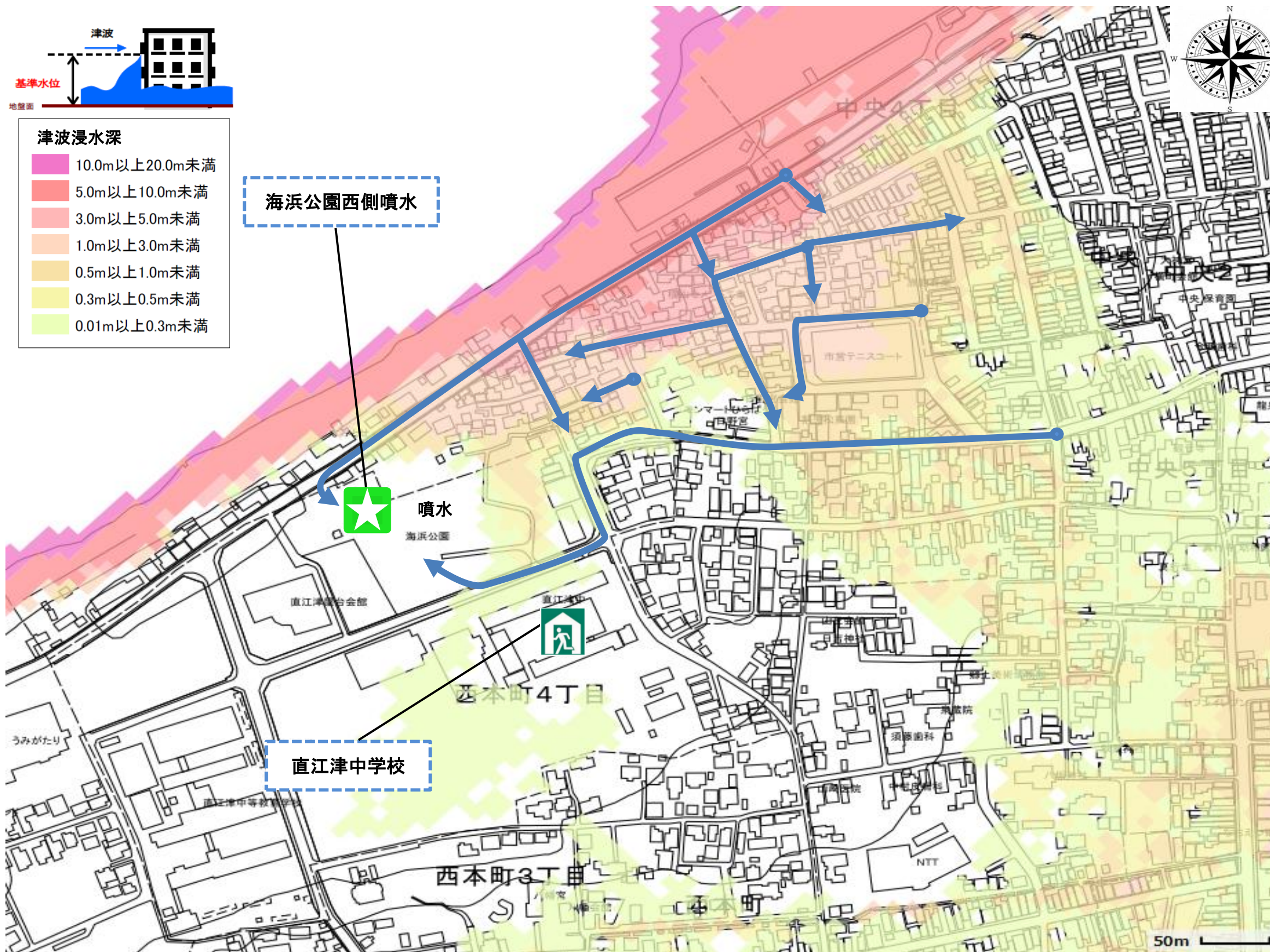
(2) 地域（町内会）で準備しておくこと

- ⇒ 避難行動要支援者の避難支援
 - ・要支援者情報の共有と個別計画の作成推進を図っています。
- ⇒ 避難経路の除雪
 - ・冬期の津波発生に備え、避難経路は日ごろから除雪に努めます。
- ⇒ 防災訓練の実施
 - ・町内会は、毎年1回9月第1日曜日 7:30 から、津波避難訓練を実施します。
- ⇒ タウンウォッチング（避難経路の点検等）の実施
 - ・町内会は、地域の危険箇所を把握するため、毎年1回、タウンウォッチング（避難経路の点検等）の実施に努めます。

2 津波からの避難マニュアル（町内会のとりきめ）

(1) 避難開始前の行動	(2) 津波に関する情報の入手方法
1 揺れがおさまるまで身の安全を図る 原則として地震で揺れたら避難しますが、まずは机の下などに隠れて、落下物などから身を守りましょう。	1 防災行政無線・上越市防災ラジオ Jアラートにより地震・津波の情報をお伝えします。
2 家族や財産を守る 火を消し、初期消火をしましょう。また、家族の安否を確認しましょう。	2 携帯電話・スマートフォン 市域内にいる方には緊急速報「エリアメール」で地震・津波の情報をお伝えします。また、上越市安全メール・SNSでも補完情報などをお伝えします。
3 余震に注意し、避難の準備をする 室内でガラスや落下物から身を守るためにスリッパや靴を履きましょう。また、非常用持出袋を用意しましょう。	
(3) 避難時に持ち出すものや装備・服装	(4) 避難の方法・避難先
1 動きやすく、安全な装備・服装 軍手、スニーカー、雨具、ヘルメット 上着 等	1 原則として徒歩で避難します。
2 非常用持出袋の中身 非常食、懐中電灯、携帯ラジオ、ライター、体温計、マスク、ウェットティッシュ、アルコール消毒液 等	2 原則として個々で避難しますが、可能な限り近隣に声を掛けて避難します。
3 貴重品や日用品 財布、携帯電話 等	3 原則として、避難目標地点を目指し、状況に応じて、指定緊急避難場所兼指定避難所に向かいます。
(5) 避難行動要支援者の支援方法	
1 日ごろから、コミュニケーションを図り、状況の把握に努めましょう。	○避難目標地点（一時集合場所） ・海浜公園西側噴水
2 要支援者名簿を町内会で共有しておきます。	○指定緊急避難場所兼指定避難所 ・直江津中学校
3 できるだけ、声を掛け合って、協力して避難しましょう。	4 原則として津波の進入方向に避難することは、控えてください。川や水路に近付くことも危険です。
	5 津波警報等が解除されるまで、独自の判断で自宅に戻ってはいけません。
	6 浸水想定外だから安全とは限りません。できるだけ高い場所を目標に避難しましょう。

直江津区関川左岸地域 避難行動計画【中央五丁目・浜町町内会】（徒歩での避難）



地域の情報

指定緊急避難場所 兼指定避難所	
指定緊急避難場所 (津波指定)	
指定緊急避難場所 (津波避難ビル)	
避難経路	
町内会が定めた 避難目標地点	

避難上の注意点

- 避難目標地点
 - ・ 海浜公園西側噴水
- 指定避難所
 - ・ 直江津中学校
- 避難行動の流れ
 - ・ 避難行動は、徒歩によることを原則とする。
 - ・ 避難目標地点を目指し、避難行動を開始する。
 - ・ 必要に応じて避難目標地点から、直江津中学校を目指す。
 - ・ 道路がガレキ等により通行できない場合は、より高い道路に迂回し、避難する。
 - ・ 津波警報等が解除されるまで、独自の判断で自宅に戻ることせず、避難行動を継続する。
- 緊急持出品
 - ・ 夜間の避難に備え、懐中電灯を携帯し避難する。

直江津区関川左岸地域 避難行動計画【中央5丁目・浜町町内会】（自動車での避難）

1 津波から避難するための事前準備

(1) 車での避難対象者の避難支援

- ①町内会で、車での避難対象者を確認しておきます。
- ②車での避難対象者をどこへの経路で避難するかを確認しておきます。

(2) 車での避難対象者が避難した後の連絡（手段、連絡する人等）

- ①車での避難対象者が駐車場等に避難した後に、避難者と連絡する手段や連絡する人等を確認しておきます。

(3) 防災訓練の実施

- ①町内会は近隣町内会と合同で、毎年秋1回、津波に備えた防災訓練の実施に努めます。

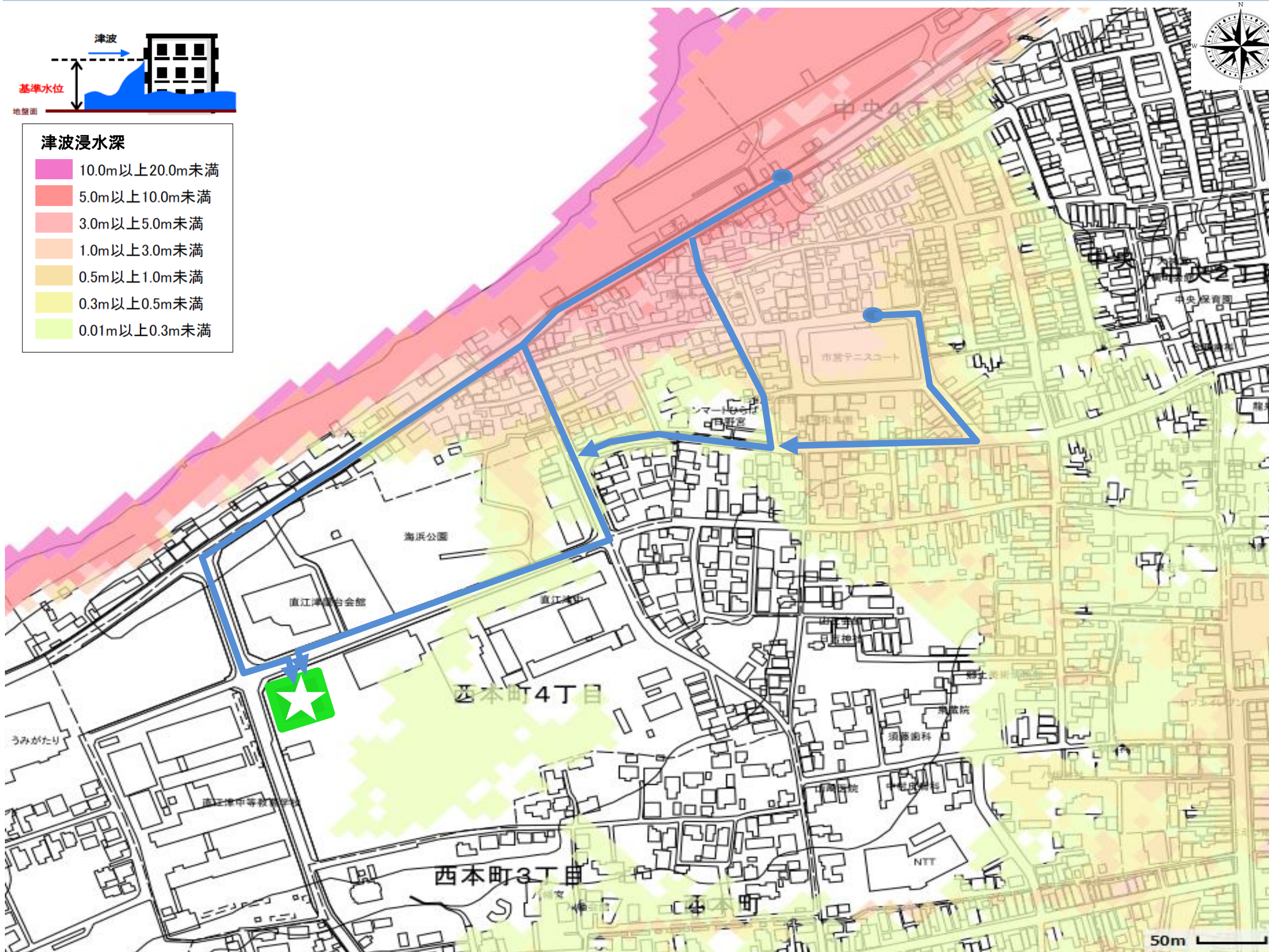
(4) タウンウォッチング（避難経路の点検等）の実施

- ①町内会は、地域の危険箇所を把握するため、毎年1回、タウンウォッチング（避難経路の点検等）の実施に努めます。

2 津波からの避難マニュアル（町内会のとりきめ）

(1) 避難開始前の行動	(2) 津波に関する情報の入手方法
1 揺れがおさまるまで身の安全を図る 原則として地震で揺れたら避難しますが、まずは机の下などに隠れて、落下物などから身を守りましょう。 2 家族や財産を守る 火を消し、初期消火をしましょう。また、家族の安否を確認しましょう。 3 余震に注意し、避難の準備をする 室内でガラスや落下物から身を守るためにスリッパや靴を履きましょう。また、非常用持出袋を用意しましょう。	1 防災行政無線・上越市防災ラジオ Jアラートにより地震・津波の情報をお伝えします。 2 携帯電話・スマートフォン 市域内にいる方には緊急速報「エリアメール」で地震・津波の情報をお伝えします。また、上越市安全メール・SNSでも補完情報などをお伝えします。
(3) 避難時に持ち出すものや装備・服装	(4) 避難の方法・避難先
1 動きやすく、安全な装備・服装 軍手、スニーカー、雨具、ヘルメット 上着 等 2 非常用持出袋の中身 非常食、懐中電灯、携帯ラジオ、ライター、体温計、マスク、ウェットティッシュ、アルコール消毒液 等 3 貴重品や日用品 財布、携帯電話 等	1 あらかじめ決めた避難経路や避難先を基に、避難します。 ○避難目標地点 ・うみがたり第2駐車場 2 地震発生に伴う停電や、道路渋滞を考慮し、避難経路を数パターン想定しておきます。

直江津区関川左岸地域 避難行動計画【中央五丁目・浜町町内会】【自動車での避難】



地域の情報



- 避難行動の流れ
 - ・道路がガレキ等により通行できない場合は、より広い又は高い道路に迂回し、避難する。
 - ・できるだけ小路は通らず、大通りを通して避難する。
 - ・津波警報等が解除されるまで、独自の判断で自宅に戻ることはせず、避難行動を継続する。